



令和元年度（平成31年度）

**川崎市岡本太郎美術館年報**

**ANNUAL REPORT 2019.4-2020.3**

# 目次

## I. 事業報告

### 1. 企画展

「岡本太郎と日本の伝統」展	1
「岡本太郎美術館 20 周年記念」展 前期	10
「岡本太郎美術館 20 周年記念」展 後期	19
「第 23 回 岡本太郎現代芸術賞 (TARO 賞)」展	25

### 2. 常設展

「開運岡本“福”太郎」展	28
「岡本太郎“聖家族”」展	34

### 3. 共催・協力企画展

### 4. 収集・保存・貸出

収集作品及び資料 (購入)  
寄贈作品・資料 / 作品額装 / 作品修復  
貸出作品及び資料

### 5. 情報・刊行物

刊行物

### 6. 教育・普及事業

イベント・ワークショップ

団体利用実績

教育プログラム

館外普及活動

教材開発と利用

美術館教育研究会

### 7. 指定管理者による自主事業

### 8. 川崎市文化芸術振興会議施設部会

## II. 資料

- 1. 入館者数統計 ..... 64
  - 令和元年度 月別入館者数
  - 年度別入館者数
- 2. 美術館事業 予算・決算概要 ..... 66
  - 予算概要
  - 決算概要

## III. 組織名簿 ..... 70

- 1. 川崎市文化芸術振興会議施設部会 委員名簿
- 2. 川崎市岡本太郎美術館 職員名簿

## IV. 川崎市岡本太郎美術館概要 ..... 71

- 1. 美術館の目的
- 2. 美術館事業内容
- 3. 美術館沿革
- 4. 施設・設備概要

## V. 川崎市岡本太郎美術館条例・規則 ..... 75

- 1. 条例
- 2. 条例施行規則

## I. 事業報告

### 1. 企画展

#### 「岡本太郎と日本の伝統」展

会 期	2019 年 4 月 27 日(土)～6 月 30 日(日)
開催日数	56 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協 賛	ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、 日本テレビ放送網
観 覧 料	一般 900 (720) 円、高・大学生・65 歳以上 700 (560) 円、 中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
入場者数	11,918 名
1 日平均	213 名(小数点以下、四捨五入)
図 録	A5
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	218 点
担 当 者	佐々木秀憲、篠原優、佐藤明由美



図録



チラシ



展示風景

#### 【開催趣旨】

1951 年 11 月、岡本太郎は東京国立博物館において縄文土器と出会い、その 4 次元的な造形力に衝撃を覚え翌年、美術雑誌『みづゑ』に「四次元との対話－縄文土器論」を發表しました。これに端を発し、岡本は、いわゆる「わび」「さび」とは異なる、他の東アジア地域からの文化的影響を受容する以前の、本来の日本の文化、日本人の美意識とは何かについて考察を深め、1956 年、著書『日本の伝統』として結実させました。

同書のために、岡本は、本来の日本と考えた文化事象を、自らシャッターを切ってカメラに収めています。縄文土器・土偶、京都の古刹の中世の庭など、その写真は、時にブラッサイのようであり、時にスティーグリッツのようでもあり、岡本が撮影した写真のなかでも、記録性を超えた高い写真芸術の領域にまで到達しています。本展覧会は、岡本の著作『日本の伝統』を中心に、岡本による写真作品を通して、「日本美」とは何かを再考する機会となることを願って開催しました。

#### 【主要関連記事・TV・ラジオ放送】

「岡本太郎と日本の伝統」展『月刊アートコレクターズ』2019 年 6 月号（生活の友社）

「岡本太郎と日本の伝統」展『美術新聞』2019 年 4 月 15 日号（美術新聞社）

「岡本太郎と日本の伝統」展（上）縄文土器-「資料」からの脱却『読売新聞』2019 年 5 月 28 日

「岡本太郎と日本の伝統」展（中）空間みじんの隙もなく『読売新聞』2019 年 5 月 29 日

「岡本太郎と日本の伝統」展（下）庭園・前衛芸術への決意『読売新聞』2019 年 5 月 30 日

「岡本太郎と日本の伝統」展 かわさきホットスタジオ 2019 年 6 月 7 日（かわさき FM）

## 【関連事業】

### ■「岡本太郎と日本の伝統」展開催記念公開シンポジウム「日本美術にとって伝統とは何か」

日 時	2019年6月2日（日）10:00～16:30	
主 催	川崎市岡本太郎美術館	
共 催	学習院大学人文科学研究所共同研究プロジェクト 「前近代日本の造形文化における古典知の構築」	
後 援	ジャポニズム学会、美学会、美術史学会	
場 所	かわさき宙（そら）と緑の科学館 2階 学習室1・2・3	
出 演	稲賀繁美、佐々木秀憲、島尾新、玉蟲敏子、花井久穂、三浦篤	
料 金	無料	
参加人数	約100名	
内 容	当該企画展の開催を記念して、公開シンポジウム「日本美術にとって伝統とは何か」の開催を企画しました。岡本太郎著『日本の伝統』をきっかけとしながら、日本人にとって「伝統」とは何かについてパネラー各位により多角的に考察しました。	
構 成	第一部 花井久穂 氏（東京国立近代美術館工芸館）：	『日本の伝統』と埴輪
	島尾 新 氏（学習院大学教授）：	『日本の伝統』と雪舟
	玉蟲敏子 氏（武蔵野美術大学教授）：	『日本の伝統』と琳派
	稲賀繁美 氏（国際日本文化研究センター教授、総合研究大学院大学教授）：	モデレーター 『日本の伝統』とイサム・ノグチ
	三浦 篤 氏（東京大学教授）：	『日本の伝統』とジャポニズム
	佐々木秀憲（川崎市岡本太郎美術館）：司会	『日本の伝統』と岡本太郎
	第二部 討論「日本美術にとって伝統とは何か」	



### ■ワークショップ「ミニチュア模型の桜を作ろう」

日 時	2019年6月23日（日）14:00～16:00
講 師	鈴木伸吾 氏
場 所	創作アトリエ
料 金	無料
参加人数	25名（同伴保護者含む）



## 【出品リスト】

\*G. S. P.：ゼラチン・シルバー・プリント

No.	作品名	作家名	制作年	材質・形状	所蔵（記載の無いものは岡本太郎美術館蔵）
1	縄文土器（富山県出土）	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.	
2	縄文土器（富山県出土）	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.	
3	縄文土器（富山県出土）	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.	
4	縄文土器	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.	
5	縄文土器	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.	
6	縄文土器	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.	
7	縄文土器	岡本太郎	1956年3月5日	G. S. P.	
8	縄文土器	岡本太郎	1956年3月5日	G. S. P.	

9	縄文土器	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
10	縄文土器	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
11	縄文土器	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
12	縄文土器	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
13	縄文土器	岡本太郎	1974年7月25日	G. S. P.
14	縄文土器(秋田県出土)	岡本太郎	1956年3月14日	G. S. P.
15	縄文土器(千葉県出土)	岡本太郎	1956年3月14日	G. S. P.
16	縄文土器(千葉県出土)	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
17	縄文土器(山梨県出土)	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
18	縄文土器(長野県出土)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
19	縄文土器(埼玉県出土)	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
20	縄文土器(埼玉県出土)	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
21	縄文土器(北多摩出土)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
22	縄文土器(北多摩出土)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
23	縄文土器(北多摩出土)	岡本太郎	1956年3月5日	G. S. P.
24	縄文土器(北多摩出土)	岡本太郎	1956年3月5日	G. S. P.
25	縄文土器(東京都あきる野市雨間塚場出土)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
26	縄文土器(東京都あきる野市草花字草花前出土)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
27	縄文土器(部分)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
28	縄文土器(部分)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
29	縄文土器(部分)	岡本太郎	1956年3月5日	G. S. P.
30	縄文土器(部分)	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
31	縄文土器(部分)	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
32	縄文土器把手(山梨県出土)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
33	縄文土器 紋様	岡本太郎	1974年7月26日	G. S. P.
34	縄文土器 紋様	岡本太郎	1974年7月26日	G. S. P.
35	土偶	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
36	土面(青森県出土)	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
37	土面(青森県出土)	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
38	土面(秋田県出土)	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
39	土面(千葉件出土)	岡本太郎	1956年3月14日	G. S. P.
40	土面(千葉県出土)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
41	土面(長野県出土)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
42	土面(長野県出土)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.

43	土面(長野県出土)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
44	土面(長野県出土)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
45	土偶(群馬県出土)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
46	土偶(群馬県出土)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
47	土偶(群馬県出土)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
48	土偶(群馬県出土)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
49	土偶(長野県出土)	岡本太郎	1974年7月26日	G. S. P.
50	土偶(山梨県出土)	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
51	土偶(横浜市出土)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
52	土偶(さいたま市真福寺貝塚出土)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
53	土偶(宮城県蕪栗恵比須田遺跡出土)	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
54	土偶(山梨県笛吹市上黒駒出土)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
55	土偶(新潟県糸魚川市一の宮出土)	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
56	土偶	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
57	土偶	岡本太郎	1956年2月23日	G. S. P.
58	土偶	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
59	土偶	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
60	土偶	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
61	土偶	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
62	弥生式土器(東京都板橋区出土)	岡本太郎	1956年3月14日	G. S. P.
63	弥生式土器(名古屋市熱田出土)	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
64	弥生式土器(熊本県出土)	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
65	弥生式土器(名古屋市熱田出土)	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
66	弥生式土器(三重県出土)	岡本太郎	1956年3月5日	G. S. P.
67	弥生式土器(長崎県・壱岐出土)	岡本太郎	1956年3月23日	G. S. P.
68	饗餐文方盃	岡本太郎	1956年3月8日	G. S. P.
69	饗餐文方盃(部分)	岡本太郎	1956年3月8日	G. S. P.
70	饗餐文方盃(部分)	岡本太郎	1956年3月8日	G. S. P.
71	饗餐文方盃(部分)	岡本太郎	1956年3月8日	G. S. P.
72	鹿苑寺 金閣	岡本太郎	1954年12月19日	G. S. P.
73	鹿苑寺 金閣 龍門滝	岡本太郎	1954年12月19日	G. S. P.
74	銀閣寺 銀沙灘 西南端	岡本太郎	1955年4月29日	G. S. P.
75	銀閣寺 向月台	岡本太郎	1955年4月29日	G. S. P.
76	銀閣寺 庭園	岡本太郎	1954年12月19日	G. S. P.
77	銀閣寺 庭園	岡本太郎	1954年12月19日	G. S. P.
78	銀閣寺 銀沙灘	岡本太郎	1955年4月29日	G. S. P.

79	銀閣寺 銀沙灘	岡本太郎	1954年12月19日	G. S. P.
80	銀閣寺 銀沙灘	岡本太郎	1954年12月19日	G. S. P.
81	大徳寺 聚光院の庭園	岡本太郎	1955年6月29日	G. S. P.
82	大徳寺 聚光院の庭園	岡本太郎	1955年6月29日	G. S. P.
83	修学院 離宮 上の御茶屋よりの眺め	岡本太郎	1953年9月10日	G. S. P.
84	慈光院 霰散らしの敷き石	岡本太郎	1955年6月27日	G. S. P.
85	慈光院 茨城門	岡本太郎	1955年6月27日	G. S. P.
86	慈光院 書院前庭の刈り込み群	岡本太郎	1955年6月27日	G. S. P.
87	当麻寺 中之坊 庭園	岡本太郎	1955年6月28日	G. S. P.
88	当麻寺 中の坊庭園	岡本太郎	1955年6月28日	G. S. P.
89	当麻寺 中の坊の四尺の土塀	岡本太郎	1955年6月28日	G. S. P.
90	当麻寺 中の坊の庭園	岡本太郎	1955年6月28日	G. S. P.
91	当麻寺 中の坊の庭からみあう木の根	岡本太郎	1955年6月28日	G. S. P.
92	当麻寺 曼荼羅堂	岡本太郎	1955年6月28日	G. S. P.
93	当麻寺 増長天立像	岡本太郎	1955年6月28日	G. S. P.
94	薬師寺 仏頭	岡本太郎	1953年10月30日	G. S. P.
95	平等院 鳳凰像	岡本太郎	1953年11月3日	G. S. P.
96	法隆寺	岡本太郎	1953年10月29日	G. S. P.
97	法隆寺	岡本太郎	1953年10月29日	G. S. P.
98	妙心寺 退蔵院	岡本太郎	1954年12月25日	G. S. P.
99	妙心寺 退蔵院 石仏	岡本太郎	1954年12月25日	G. S. P.
100	妙心寺 退蔵院の枯池にかかる石橋	岡本太郎	1954年12月25日	G. S. P.
101	妙心寺 退蔵院の庭	岡本太郎	1954年12月25日	G. S. P.
102	大徳寺 方丈の東庭	岡本太郎	1953年9月12日	G. S. P.
103	大徳寺 方丈の南庭	岡本太郎	1953年9月12日	G. S. P.
104	大徳寺 真珠庵	岡本太郎	1955年8月9日	G. S. P.
105	大徳寺 真珠庵の縁より見た石組み	岡本太郎	1954年12月22日	G. S. P.
106	大徳寺 真珠庵の北側から見た七五三の石組み	岡本太郎	1954年12月22日	G. S. P.
107	龍安寺 石庭	岡本太郎	1953年9月8日	G. S. P.
108	龍安寺 石庭	岡本太郎	1954年12月20日	G. S. P.
109	龍安寺 石庭	岡本太郎	1954年12月20日	G. S. P.
110	龍安寺 石庭	岡本太郎	1955年6月29日	G. S. P.
111	龍安寺 石庭	岡本太郎	1955年6月29日	G. S. P.
112	龍安寺 石庭	岡本太郎	1954年12月20日	G. S. P.
113	龍安寺 石庭正面	岡本太郎	1954年12月20日	G. S. P.



114	龍安寺 石庭横側	岡本太郎	1954年12月20日	G. S. P.
115	朝倉家の館跡	岡本太郎	1955年7月30日	G. S. P.
116	朝倉氏館跡の庭	岡本太郎	1955年7月30日	G. S. P.
117	西芳寺	岡本太郎	1953年9月8日	G. S. P.
118	西芳寺	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
119	西芳寺 黄金池の夜泊石	岡本太郎	1953年9月8日	G. S. P.
120	西芳寺 黄金池の夜泊石	岡本太郎	1953年9月8日	G. S. P.
121	西芳寺 影向石付近の水流の面影をのこした石組み	岡本太郎	1955年6月28日	G. S. P.
122	西芳寺 枯山水	岡本太郎	1953年9月8日	G. S. P.
123	西芳寺 枯山水	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
124	西芳寺 枯山水	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
125	西芳寺 洪隠山の枯滝	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
126	西芳寺 洪隠山の枯滝	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
127	西芳寺 洪隠山へ登る石段	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
128	西芳寺 向上関から洪隠山にのぼるけわしい石段	岡本太郎	1953年9月8日	G. S. P.
129	西芳寺 須弥山の石組み	岡本太郎	1953年9月8日	G. S. P.
130	西芳寺 庭園	岡本太郎	1953年9月8日	G. S. P.
131	西芳寺 庭園	岡本太郎	1953年9月8日	G. S. P.
132	西芳寺 向上門から洪隠山へ登る石段	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
133	西芳寺 夜泊石	岡本太郎	1955年6月28日	G. S. P.
134	西芳寺 夜泊石	岡本太郎	1955年6月28日	G. S. P.
135	南禅寺 金地院の鶴亀の石	岡本太郎	1955年4月29日	G. S. P.
136	南禅寺 方丈の南庭	岡本太郎	1955年4月29日	G. S. P.
137	大徳寺 大仙院の枯山水	岡本太郎	1954年12月22日	G. S. P.
138	大徳寺 大仙院の枯滝と流れ	岡本太郎	1954年12月22日	G. S. P.
139	妙心寺 雪雲院の枯山水	岡本太郎	1954年12月25日	G. S. P.
140	妙心寺 東海庵の龍安寺を模倣した庭	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
141	醍醐寺 三宝院	岡本太郎	1953年11月4日	G. S. P.
142	野村邸 つくばいの引き水	岡本太郎	1953年9月12日	G. S. P.
143	大徳寺 孤篷庵入口	岡本太郎	1954年12月22日	G. S. P.
144	大徳寺 孤篷庵の飛石	岡本太郎	1954年12月22日	G. S. P.
145	大徳寺 孤蓬庵	岡本太郎	1954年12月22日	G. S. P.
146	大徳寺 孤蓬庵の「露結」の手水鉢	岡本太郎	1954年12月22日	G. S. P.
147	大徳寺 孤蓬庵	岡本太郎	1954年12月22日	G. S. P.

148	龍安寺 雨落ちの小溝	岡本太郎	1954年12月20日	G. S. P.
149	東福寺 僧堂	岡本太郎	1954年12月24日	G. S. P.
150	東福寺 僧堂	岡本太郎	1954年12月25日	G. S. P.
151	仁和寺	岡本太郎	1955年6月29日	G. S. P.
152	三千院	岡本太郎	1955年6月29日	G. S. P.
153	西本願寺 対面所前の虎溪の庭	岡本太郎	1955年4月29日	G. S. P.
154	西本願寺 飛雲閣 舟入之間	岡本太郎	1955年4月29日	G. S. P.
155	東本願寺 涉成園内の石垣	岡本太郎	1953年9月8日	G. S. P.
156	本法寺 「日蓮」をもじったと言われ る庭	岡本太郎	1955年6月30日	G. S. P.
157	鹿苑寺 金閣 飛石	岡本太郎	1954年12月19日	G. S. P.
158	二条城 石垣	岡本太郎	1953年11月3日	G. S. P.
159	二条城 石垣	岡本太郎	1953年11月3日	G. S. P.
160	二条城 石垣	岡本太郎	1953年11月3日	G. S. P.
161	大徳寺 孤篷庵の「大徳寺垣」	岡本太郎	1954年12月22日	G. S. P.
162	西芳寺 開山堂前の石段	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
163	西芳寺 池畔のくぼみ	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
164	表千家 露地	岡本太郎	1955年6月30日	G. S. P.
165	表千家のつくばい	岡本太郎	1955年6月30日	G. S. P.
166	裏千家 茶庭の飛石	岡本太郎	1954年12月21日	G. S. P.
167	裏千家 茶庭の飛石	岡本太郎	1953年9月9日	G. S. P.
168	裏千家 飛石	岡本太郎	1955年6月30日	G. S. P.
168	裏千家 又隠茶席前の飛石	岡本太郎	1954年12月21日	G. S. P.
169	桂離宮	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
170	桂離宮	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
171	桂離宮	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
172	桂離宮	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
173	桂離宮	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
174	桂離宮	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
175	桂離宮	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
176	桂離宮	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
177	桂離宮	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
178	桂離宮	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
179	桂離宮 飛石	岡本太郎	1955年11月20日	G. S. P.
180	六義園	岡本太郎	1955年2月19日	G. S. P.
181	水清寺	岡本太郎	1955年9月28日	G. S. P.

182	泰勝寺	岡本太郎	1955年9月28日	G. S. P.	
183	磯御殿の石燈籠	岡本太郎	1955年9月2日	G. S. P.	
184	磯御殿	岡本太郎	1955年9月2日	G. S. P.	
185	空間	岡本太郎	1934/54（再制作）	キャンバス、油彩	
186	夜	岡本太郎	1947	キャンバス、油彩	
187	二人	岡本太郎	1948	キャンバス、油彩	
188	美女と野獣	岡本太郎	1949	キャンバス、油彩	
189	黒い太陽	岡本太郎	1949	キャンバス、油彩	
190	森の掟	岡本太郎	1950	キャンバス、油彩	
191	クリマ	岡本太郎	1951	キャンバス、油彩	
192	駄々っ子	岡本太郎	1951	キャンバス、油彩	
193	夢の鳥	岡本太郎	1951	キャンバス、油彩	
194	青空	岡本太郎	1954	キャンバス、油彩	
195	犬	岡本太郎	1954	キャンバス、油彩	
196	建設	岡本太郎	1956	キャンバス、油彩	
197	二つの顔	岡本太郎	1957	キャンバス、油彩	
198	ドラマ	岡本太郎	1958	キャンバス、油彩	
199	マスク	岡本太郎	1959	キャンバス、油彩	
200	裂けた顔	岡本太郎	1960	キャンバス、油彩	
201	黒い生き物	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩	
202	跳ぶ眼	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩	
203	具現	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩	
204	風神	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩	
205	予感	岡本太郎	1963	キャンバス、油彩	
206	歓喜	岡本太郎	1963	キャンバス、油彩	
207	顔	岡本太郎	1952	陶磁	
208	動物	岡本太郎	1955	陶磁	
209	愛	岡本太郎	1961	RC	
210	渾沌	岡本太郎	1961	ブロンズ	
211	五大陸	岡本太郎	1967	FRP	
212	こどもの樹	岡本太郎	1985	FRP	
213	岡本三太郎「醤油画（尾形光琳）」	小沢 剛	2007	醤油画、シルクスクリーン	高橋コレクション蔵
214	醤油画掛軸（フランク・ステラ+長谷川等伯）一対	小沢 剛	2007	醤油画	作家蔵
215	枯山水 南の島	鈴木伸吾	2019	ミクストメディア	インスタレーション

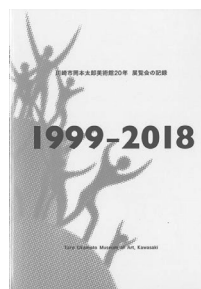
216	漢字燕子花図具羅富異帝杉戸絵 一撃必殺特攻隊	天明屋 尚 2000	アクリル絵具、金箔、 杉戸	高橋コレクション蔵
217	黒塗机器人形兜披风図屏風	天明屋 尚 2016	アクリル絵具、木、金 箔	個人蔵

## 企画展

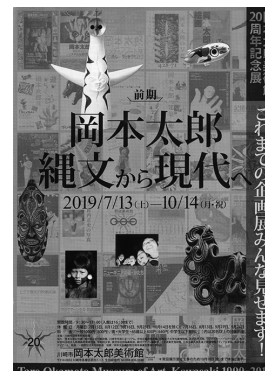
### 岡本太郎美術館 20 周年記念展

「これまでの企画展みんな見せます！ 前期/岡本太郎・縄文から現代へ」展

会 期	2019 年 7 月 13 日(土)～10 月 14 日(月祝)
開催日数	81 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館
協 力	岡本太郎記念館、東京国立近代美術館、川崎市市民ミュージアム、中村正義の美術館、昭和女子大学光葉博物館、井戸尻考古館、ワンダーアートプロダクション、特定非営利活動法人熱帯森林保護団体、早稲田大学、株式会社田島美術店、廣村デザイン事務所、二子流東京鬼剣舞、日本工業大学先進工学部情報メディア工学科、digiart, Inc.
助 成	一般財団法人地域創造
協 賛	岡本太郎美術館 20 周年事業支援実行委員会
観 覧 料	1,000 円(800 円)、高・大学生・65 歳以上 800 円(640 円)、中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
入場者数	19,879 名
1 日平均	245 名(小数点以下、四捨五入)
図 録	20 周年記念誌、B5
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	約 250 点
担 当 者	大杉浩司、片岡香、篠原優、橋本文恵



20 周年記念誌



チラシ



展示風景

#### 【開催趣旨】

岡本太郎美術館では開館以来、常設展示室での収蔵作品展示のほか、企画展として、「岡本太郎を顕彰しその芸術性を探るもの」、「岡本太郎が交流した作家とその時代」、「芸術と社会との関わり」をテーマに展覧会を開催してきました。20 年の間に開催した企画展は約 60 回となります。

開館 20 周年の記念として、これまでに開催してきた企画展をもう一度振り返り、展覧会を象徴する代表的作品や資料を抽出し展示する展覧会を、前期と後期に分けて開催しました。前期展では、岡本太郎の多面的な活動の足跡と、縄文土器から民族の源流を探るフィールドワークの旅、そして岡本太郎と関わりの深い同時代の作家を紹介しました。

#### 【主要関連記事・TV・ラジオ放送】

- ・「岡本太郎を振り返る あすから過去 60 回 美術館 20 周年記念展」『神奈川新聞』2019 年 7 月 12 日
- ・「岡本太郎美術館 20 年の集大成」『読売新聞』2019 年 7 月 13 日
- ・「岡本太郎 60 回の企画展 総まとめ 市の美術館 開館 20 周年記念展」『東京新聞』2019 年 7 月 13 日
- ・「『岡本太郎・縄文から現代へ』展開幕」『美術新聞』2019 年 7 月 15 日
- ・「日曜美術館・アートシーン」E テレ 2019 年 9 月 1 日放送

## 【関連事業】

### ■ 甦れ!! バーチャルリアリティ太陽の塔

日 時	2019年8月3日(土)～12日(月・祝) 11:00～16:30
内 容	日本工業大学の学生による VR コンテンツを体験。1970年万国博当時の「太陽の塔」と内部の「生命の樹」を VR で体験しました。
場 所	企画展示室
講 師	日本工業大学先進工学部情報メディア工学科 学生
料 金	無料(要観覧料)
参加人数	1,638名



### ■ 太郎 de くんくんウォーク

日 時	2019年9月15日(日) 10:30～16:00
内 容	生田緑地のにおいをつめた自分だけのくんくんボトルを作成し、岡本太郎の作品や秘密のアイテムのにおいをかぎ、参加者それぞれの体験を共有しました。
場 所	生田緑地、企画展示室、創作アトリエ
講 師	井上尚子(現代美術作家)
対 象	小学生以上
料 金	150円(ボトル代)(高校生以上は要観覧料)
参加人数	11名



### ■ 自分やーめた～変身して美術館で写真を撮ろう！～

日 時	2019年9月22日(日) 13:00～16:00
内 容	日用品を使って仮装するワークショップ。参加者が思い思いの仮装をした後は、岡本太郎作品の前で記念写真を撮影しました。
場 所	企画展示室
講 師	原倫太郎、原游
料 金	無料(要観覧料)
参加人数	77名



### ■ 二子流東京鬼剣舞による《鬼剣舞》

日 時	2019年10月6日(日) 14:00～/15:30～
内 容	日本を代表する祭りとして岡本太郎が高く評価した伝統芸能の一つ、岩手県北上地方の伝統芸能「鬼剣舞」。岡本太郎作品の前での演舞を披露しました。
場 所	企画展示室
出 演	二子流東京鬼剣舞
料 金	無料(要観覧料)
参加人数	286名



## 【出品リスト】

No.	作品名	作家名	制作年	材質・素材	所蔵(記載の無いものは岡本太郎美術館蔵)
1	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1968-	陶磁	
2	午後の日	岡本太郎	1967	ブロンズ	
3	梵鐘・歓喜	岡本太郎	1965	ブロンズ	
4	敗惨の歎き	岡本太郎	1925	紙、水彩	
5	大玉送り	岡本太郎	1968-69	紙、墨	
6	大玉送り	岡本太郎	1968-69	紙、墨	個人蔵
7	春	岡本太郎	1947	紙、鉛筆、インク	
8	光る彫刻	岡本太郎	1967	FRP	
9	夜の樹	岡本太郎	1962	紙、シルクスクリーン	
10	風	岡本太郎	1975	紙、リトグラフ	
11	至上命令	岡本太郎	1988	紙、リトグラフ、油彩	
12	まひる	岡本太郎	1975	紙、リトグラフ	
13	太陽	岡本太郎	1970	紙、木版	
14	風	岡本太郎	1980	紙、リトグラフ	
15	黒い太陽	岡本太郎	1980	紙、リトグラフ	
16	呼ぶ	岡本太郎	1976	紙、リトグラフ	
17	風鐸	岡本太郎	1966	ブロンズ	
18	飛行船「レインボー号」	岡本太郎	1973	FRP	
19	眼	岡本太郎	1988	紙、リトグラフ、油彩	
20	雷神	岡本太郎	1978	陶磁	
21	風神	岡本太郎	1978	陶磁	
22	歓喜	岡本太郎	1977	陶磁	
23	横たわる	岡本太郎	1981	陶磁	
24	踊り	岡本太郎	1982	陶磁	
25	若い夢	岡本太郎	1974	FRP	
26	犬の植木鉢	岡本太郎	1955	陶磁	
27	樹霊Ⅱ	岡本太郎	1971	FRP	
28	手一赤	岡本太郎	1981	FRP	
29	手一青	岡本太郎	1981	FRP	
30	こどもの樹	岡本太郎	1985	FRP	
31	空間	岡本太郎	1934/1954(再制作)	キャンバス、油彩	
32	傷ましき腕	岡本太郎	1936/1949(再制作)	キャンバス、油彩	
33	コントロールポアン	岡本太郎	1935/1954(再制作)	キャンバス、油彩	東京国立近代美術館
34	師団長の肖像	岡本太郎	1942	キャンバス、油彩	岡本太郎記念館
35	電撃	岡本太郎	1947	キャンバス、油彩	岡本太郎記念館

36	夜	岡本太郎	1947	キャンバス、油彩	
37	海辺	岡本太郎	1954	キャンバス、油彩	
38	黒い太陽	岡本太郎	1949	キャンバス、油彩	
39	未来を見た	岡本太郎	1971	キャンバス、油彩	
40	燃える人	岡本太郎	1954	キャンバス、油彩	東京国立近代美術館
41	重工業	岡本太郎	1949	キャンバス、油彩	
42	マスク	岡本太郎	1959	キャンバス、油彩	
43	装える戦士	岡本太郎	1962	キャンバス、油彩	
44	若い闘争	岡本太郎	1962	キャンバス、油彩	
45	赤のアイコン	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩	
46	記念撮影	岡本太郎	1975	キャンバス、油彩	
47	夢	岡本太郎	1988	紙、リトグラフ、油彩	
48	炎	岡本太郎	1988	紙、リトグラフ、油彩	
49	母	岡本太郎	1981	紙、リトグラフ	
50	愛	岡本太郎	1981	紙、リトグラフ	
51	夢	岡本太郎	1979	紙、墨	
52	ドローイング	岡本太郎			
53	コンポジション	テオ・ファン・ド ウースブルフ	1973(原作:1930頃)	紙、リトグラフ	
54	コンポジション D	ピエト・モンドリ アン	1973(原作:1932頃)	紙、リトグラフ	
55	リズム一色彩 No.816	ソニア・ドローネ ー=テルク	1973(原作:1936頃)	紙、リトグラフ	
56	コンポジション	ハンス(ジャ ン)・アルプ	1973(原作:1930頃)	紙、リトグラフ	
57	コンポジション	ジェラルド・ヴ リアミ	1973(原作:1933頃)	紙、リトグラフ	
58	La sorciere	クルト・セリグマ ン	1934	紙、エッチング	
59	Le pecheur	クルト・セリグマ ン	1934	紙、エッチング	
60	マミ会館	岡本太郎	1968	FRP	
61	日の壁	岡本太郎	1956	キャンバス、油彩	岡本太郎記念館
62	青	岡本太郎	1956	キャンバス、油彩	岡本太郎記念館
63	建設	岡本太郎	1956	キャンバス、油彩	岡本太郎記念館
64	緑	岡本太郎	1956	キャンバス、油彩	岡本太郎記念館
65	岡本太郎アトリエ兼自 邸 関連図面(設計:坂 倉準三)		1953-54	青焼き図面、他	岡本太郎記念館
66	自画像	中村正義	1966	キャンバス、油彩	中村正義の美術館
67	三人	中村正義	1974	紙本着彩	中村正義の美術館



68	後ろに立っている私	中村正義	1974	紙本着彩	中村正義の美術館
69	男	中村正義	1963	キャンバス、油彩	中村正義の美術館
70	まどろみ	岡本太郎	1967	FRP、布、金属	
71	ティーテーブル	岡本太郎	1967	合板、金属	
72	夢の鳥	岡本太郎	1977	磁器	
73	手皿	岡本太郎	1979	ガラス	
74	人間ボトル	岡本太郎	1985	磁器	
75	顔のグラス	岡本太郎	1976	ガラス	
76	水差し男爵	岡本太郎	1977	ガラス	
77	火の接吻	岡本太郎	1970	セラミック、プラスチック	
78	太郎の手の時計	岡本太郎	1972	FRP	
79	躍る	岡本太郎	1979	羊毛	
80	プリント服地デザイン	石元泰博、岡本太郎、篠田桃紅、福島秀子、藤沢典明、間所（芥川）紗織、吉仲太造	1956	顔料、樹脂、綿	岡本太郎記念館
81	サイコロ椅子	岡本太郎	1957-2005	藤	
82	スツール	岡本太郎	1967-	アルミニウム、布	
83	歩み	岡本太郎	1967	陶磁	
84	むすめ	岡本太郎	1967	陶磁	
85	AKARI	イサム・ノグチ	1951-2019	紙、竹、金属	株式会社オゼキ
86	漆海遊図衝立	北大路魯山人	1935-44	木、漆	田島美術店
87	染付良寛詩花入	北大路魯山人	1937	磁器	個人蔵
88	緑塵	北大路魯山人	1950	木	個人蔵
89	若い太陽の塔	岡本太郎	1969	FRP	
90	未来を拓く	岡本太郎	1987	FRP	
91	若い時計台	岡本太郎	1966	アルミニウム	
92	眼と眼コミュニケーション	岡本太郎	1980	FRP	
93	天に舞う	岡本太郎	1974	FRP	
94	河童像	岡本太郎	1981	FRP	
95	明日の神話	岡本太郎	1968	キャンバス、油彩	
96	万博の鍵	岡本太郎	1970	FRP	
97	太陽の塔	岡本太郎	1970	FRP	
98	光る彫刻	岡本太郎	1967	FRP	
99	千手	岡本太郎	1965	キャンバス、油彩	

100	リョウラン	岡本太郎	1989	FRP	
101	未来を視る	岡本太郎	1984	FRP	
102	夢の樹	岡本太郎	1983	FRP	
103	太陽	岡本太郎	1985	FRP	
104	欠きとられた人面		縄文中期	土	井戸尻考古資料館
105	水煙渦巻文深鉢(レブリカ)		縄文中期	土	井戸尻考古資料館
106	人面香炉形土器		縄文中期	土	井戸尻考古資料館
107	神像筒形土器(レブリカ)		縄文中期	土	井戸尻考古資料館
108	蛇文方神深鉢		縄文中期	土	井戸尻考古資料館
109	縄文土器(富山県出土)	岡本太郎	1956	写真パネル	
110	土偶	岡本太郎	1956	写真パネル	
111	縄文土器 水煙渦巻文深鉢(井戸尻考古館・長野県出土)	岡本太郎	1974	写真パネル	
112	縄文土器 把手(東京都北多摩出土)	岡本太郎	1956	写真パネル	
113	土偶(群馬県出土)	岡本太郎	1956	写真パネル	
114	竹富島の老人/沖縄	岡本太郎	1959	写真パネル	
115	久高島/沖縄	岡本太郎	1966	写真パネル	
116	イザイホー/沖縄	岡本太郎	1966	写真パネル	
117	読谷の闘牛/沖縄	岡本太郎	1959	写真パネル	
118	竹富島/沖縄	岡本太郎	1959	写真パネル	
119	久高のろ/沖縄	岡本太郎	1959	写真パネル	
120	久高のろの息子/沖縄	岡本太郎	1959	写真パネル	
121	竹富島/沖縄	岡本太郎	1959	写真パネル	
122	糸満/沖縄	岡本太郎	1959	写真パネル	
123	鹿踊り/岩手・花巻温泉	岡本太郎	1957	写真パネル	
124	花田植え/広島・壬生	岡本太郎	1963	写真パネル	
125	芸者/大阪	岡本太郎	1957	写真パネル	
126	法善寺横丁/大阪	岡本太郎	1957	写真パネル	
127	かまくらを作る少女/秋田	岡本太郎	1957	写真パネル	
128	かまくらのある町/秋田	岡本太郎	1957	写真パネル	
129	鬼剣舞/岩手	岡本太郎	1957	写真パネル	
130	なまはげ/秋田	岡本太郎	1957	写真パネル	

131	川倉地蔵/青森	岡本太郎	1962	写真パネル	
132	おしらさま/岩手	岡本太郎	1957	写真パネル	
133	メキシコ	岡本太郎	1967	写真パネル	
134	トラコルーラの市場/ メキシコ	岡本太郎	1967	写真パネル	
135	ソチミルコ/メキシコ	岡本太郎	1967	写真パネル	
136	メキシコ	岡本太郎	1967	写真パネル	
137	ジャグル/メキシコ	岡本太郎	1967	写真パネル	
138	コアトリクエ像/国立 人類学博物館・メキシ コ	岡本太郎	1967	写真パネル	
139	太陽の円盤/国立人類 学博物館・メキシコ	岡本太郎	1967	写真パネル	
140	戦闘用楯 2点			木、籐、植物繊維、石灰、 赤土、黄土、墨	早稲田大学
141	精霊の仮面 9点			木、籐、コヤスガイ、石 灰、赤土、墨 他	早稲田大学
142	切妻装飾仮面			ヤシの仏炎苞、籐、竹、 植物繊維、ラフィア、石 灰、赤土、黄土、墨	早稲田大学
143	祖霊像			木	早稲田大学
144	アートラジオ ンデベレラジオ	マーシャ&フロ ーラ・マサナンボ			ワンダーアートプロダクシ ョン
145	アートラジオ 南アフリカラジオ	ロバート・ラング ピー			ワンダーアートプロダクシ ョン
146	アートラジオ キリン	ロバート・ラング ピー			ワンダーアートプロダクシ ョン
147	コロ人形 9点				ワンダーアートプロダクシ ョン
148	ベニヤ製蝶 6点				ワンダーアートプロダクシ ョン
149	散髪サンプルボード 2点				ワンダーアートプロダクシ ョン
150	テキスタイル 3点				ワンダーアートプロダクシ ョン
151	カヤボ族の人々 6点	Eduard Albarello、 高橋昇		写真パネル	熱帯森林保護団体
152	羽飾り 7点				熱帯森林保護団体
153	かご 4点				熱帯森林保護団体
154	椅子 6点				熱帯森林保護団体
155	ボディペイント 8点				熱帯森林保護団体
156	韓国の仮面 8点			木、紙、布	昭和女子大学光葉博物館

157	韓国の仮面			ひょうたん、布	岡本太郎記念館	
158	山台劇/韓国民俗村・水原	岡本太郎	1977	写真パネル		
159	チマチョゴリを着た子ども/韓国	岡本太郎	1964	写真パネル		
160	下のサンシン チャンスン/韓国	岡本太郎	1977	写真パネル		
161	山台劇（撮影場所：韓国民俗村）		1977(撮影)	映像（3分）		
162	天空に我あり	岡本太郎	1975	キャンバス、油彩		
163	夜の会合	横尾忠則	1997	キャンバス、アクリル、油彩		
164	岡本桃太郎	横尾忠則	1966/2000 (再制作)	バブルジェットプリント		
165	倉庫	池田龍雄	1956	紙、インク、水彩		
166	化け物の系譜シリーズ ゴム族	池田龍雄	1950年代	紙、インク		
167	白昼夢	北代省三	1948/1989	キャンバス、油彩		
168	スペース・モデューラー	北代省三	1956/1992	木、和紙		
169	コカ・コーラプラン	篠原有司男	1964/2000 (再制作)	ミクストメディア		
170	作品	荒川修作	1960	セメント、綿、布、金属、 木箱	東京国立近代美術館	
171	作品	荒川修作	1960	セメント、綿、布、金属、 藁、木箱	東京国立近代美術館	
172	俗神 素人の芸人(東京・浅草)	土田ヒロミ	1970	ゼラチン・シルバー・プリント	川崎市市民ミュージアム	◇
173	俗神 素人の芸人(東京・浅草)	土田ヒロミ	1970	ゼラチン・シルバー・プリント	川崎市市民ミュージアム	◆
174	俗神 茶屋の女と客(青森・弘前)	土田ヒロミ	1972	ゼラチン・シルバー・プリント	川崎市市民ミュージアム	◇
175	俗神 女装で踊る青年(鹿児島・種子島)	土田ヒロミ	1973	ゼラチン・シルバー・プリント	川崎市市民ミュージアム	◆
176	スギノイパレス 大分県別府	都築響一	1993-1996	カラープリント(ダイレクト)	川崎市市民ミュージアム	◇
177	大観音寺 三重県橿原温泉	都築響一	1993-1996	カラープリント(ダイレクト)	川崎市市民ミュージアム	◇

178	鳥羽国際秘宝館・SF 未 来館 三重県鳥羽	都築響一	1993-1996	カラープリント(ダイレ クト)	川崎市市民ミュージアム	◇
179	ルーブル彫刻美術館 三重県榑原温泉	都築響一	1993-1996	カラープリント(ダイレ クト)	川崎市市民ミュージアム	◆
180	ハニベ巖窟院 石川県 小松	都築響一	1993-1996	カラープリント(ダイレ クト)	川崎市市民ミュージアム	◆
181	カエル橋 和歌山県日 高郡印南	都築響一	1993-1996	カラープリント(ダイレ クト)	川崎市市民ミュージアム	◆
182	踊る老婆《婆バクハ ツ!》より	内藤正敏	1968	ゼラチン・シルバー・プ リント	川崎市市民ミュージアム	◇
183	お籠りする老婆たち 《婆バクハツ!》より	内藤正敏	1970	ゼラチン・シルバー・プ リント	川崎市市民ミュージアム	◇
184	遠野葬祭商の霊柩車 《遠野物語》より	内藤正敏	1938	ゼラチン・シルバー・プ リント	川崎市市民ミュージアム	◇
185	参詣の老婆《婆バクハ ツ!》より	内藤正敏	1969	ゼラチン・シルバー・プ リント	川崎市市民ミュージアム	◇
186	家路につくイタコ《婆 バクハツ!》より	内藤正敏	1969	ゼラチン・シルバー・プ リント	川崎市市民ミュージアム	◇
187	歩く男《東京》より	内藤正敏	1970	ゼラチン・シルバー・プ リント	川崎市市民ミュージアム	◆
188	酒を飲む浮浪者《東 京》より	内藤正敏	1970	ゼラチン・シルバー・プ リント	川崎市市民ミュージアム	◆
189	見世物芸人《東京》よ り	内藤正敏	1970	ゼラチン・シルバー・プ リント	川崎市市民ミュージアム	◆
190	浅草雷門《東京》より	内藤正敏	1970	ゼラチン・シルバー・プ リント	川崎市市民ミュージアム	◆
191	ほろ酔い気分のオカマ 嬢	内藤正敏	1981	ゼラチン・シルバー・プ リント	川崎市市民ミュージアム	◆
192	縄文人	岡本太郎	1982	FRP		
193	神話	岡本太郎	1980	FRP		
194	手の椅子	岡本太郎	1967	FRP		
195	駄々っ子	岡本太郎	1967	FRP		
196	ひもの椅子	岡本太郎	1967-2005	木、紐		
197	マスク	岡本太郎	1970	FRP		

◇…7/14 から 9/2 まで展示 ◆…9/4 から 10/14 まで展示

## 企画展

### 岡本太郎美術館 20周年記念展

#### 「これまでの企画展みんな見せます！ 後期/芸術と社会 現代の作家たち」展

会 期	2019年10月26日(土)～2020年1月13日(月祝)
開催日数	63日
主 催	川崎市岡本太郎美術館
協 力	岐阜県美術館、慶応義塾大学アート・センター、群馬県立館林美術館、東京都現代美術館、横浜市民ギャラリー、ミヅマアートギャラリー、株式会社ヒビノスペシャル、横田茂ギャラリー、アートフロントギャラリー、ギャラリーQ、株式会社円谷プロダクション、株式会社東宝映像美術、株式会社東宝、廣村デザイン事務所、digiart,Inc.
助 成	公益財団法人朝日新聞文化財団
協 賛	岡本太郎美術館 20周年事業支援実行委員会
観 覧 料	1000円(800円)、高・大学生・65歳以上 800円(640円)、中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金
入場者数	17,816名
1日平均	283名(小数点以下、四捨五入)
図 録	作品目録 B5
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	91点
担 当 者	大杉浩司、片岡香、佐藤明由美、木村かのう



作品目録

チラシ



会場風景

### 【開催趣旨】

岡本太郎美術館では開館以来、常設展示室での収蔵作品展示のほか、企画展として、「岡本太郎を顕彰しその芸術性を探るもの」、「岡本太郎が交流した作家とその時代」、「芸術と社会との関わり」をテーマに展覧会を開催してきた。20年の間に開催した企画展は約60回となる。

開館20周年の記念として、これまでに開催してきた企画展をもう一度振り返り、展覧会を象徴する代表的作品や資料を抽出し展示する展覧会を、前期と後期に分けて開催した。後期展では、「芸術と社会の関わり」「次世代を創造する作家への支援」「岡本太郎が交流した作家とその時代」をテーマとした企画展で取り上げた現代の作家たちの作品を紹介した。

## 【主要関連記事・TV・ラジオ放送】

- ・「岡本太郎美術館が開館20周年 『奇才』の魅力伝え続け」『東京新聞』2019年10月26日
- ・「岡本太郎美術館20年の歩み 記念展後期展示『芸術と社会』に焦点」『読売新聞』2019年11月13日
- ・「『ペラボー』な空間 TAROのDNA」『産経新聞』2019年12月2日
- ・「『芸術と社会・現代の作家たち』理念受け継ぐ作品一堂に」『神奈川新聞』2019年12月16日

## 【関連事業】

### ■角文平ワークショップ 「一坪タウン」

顔の家、街を作る。現代社会における人のテリトリーを題材にした角文平の作品を制作。参加者が理想の家を作り一つの街にして写真を撮影した。

日時	2019年10月27日（日）	13:00~17:00
場所	創作アトリエ、常設展示室	
講師	角文平（現代美術家）	
料金	参加者一人1000円（材料費として）	
参加人数	12名	



### ■茶会 游喜庵

日時	2019年11月3日（日）	12:00~16:00
場所	母の塔前広場	
講師	岩沢宗知（茶道裏千家流正教授）	
料金	一人300円（お抹茶、お菓子）	
参加人数	112名	



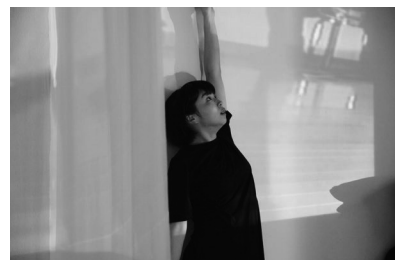
### ■ウルトラセブン 握手・撮影会

日時	2019年11月24日（日）	11:00~11:30、13:00~13:30、14:30~15:00
場所	企画展示室	
料金	無料（要観覧料）	
参加人数	323名	



### ■皮膜としての映像とダンスパフォーマンス

日時	2019年12月21日（土）、22日（日）	14:00~、16:00~
場所	企画展示室	
出演	ヒゲマ春夫（映像）×高宮梢（ダンス）	
料金	無料（要観覧料）	
参加人数	129名	



### ■岡本太郎美術館20周年 おめでとう！—思い出ひろく—

会期中、来館者に美術館でのエピソードや岡本作品への思い、美術館へのメッセージなどを寄せていただき、他の来館者とも共有できるようにした。

日時	2019年7月13日（土）~10月14日（月祝）、 10月26日（土）~2020年1月13日（月祝）
場所	ギャラリースペース
参加枚数	2,178枚



## 【出品リスト】

No.	作品名	作家名	制作年	材質・素材	所蔵
1	若い夢	岡本太郎	1974	繊維強化プラスチック	岡本太郎美術館
2	GMK ゴジラ				
3	ウルトラマン				
4	対照	佐内正史	2008～		
5	バーガーボーイ	間島領一	2000	繊維強化プラスチック	作家蔵
6	バーガーガール	間島領一	2000	繊維強化プラスチック	作家蔵
7	ジェネリックアートライ イン	市川平	1993～	ミクストメディア	作家蔵
8	キリン	角文平	2006	鉄・木・鉛	
9	キリン	角文平	2006	鉄・木・鉛	
10	空中都市	角文平	2011	鉄・木・鉛	
11	一戸建てマンション	角文平	2012	鉄・ステンレス・木	
12	土方巽追悼公演 病める舞姫	田中一光	1987	ポスター	NPO 法人舞踏創造資源
13	四季のための二十七晩	デザイン：土方巽、 写真：吉野章郎	1972	ポスター	NPO 法人舞踏創造資源
14	芦川羊子第1回リサイタル	中村宏	1968	ポスター	NPO 法人舞踏創造資源
15	650EXPERIENCE の会 6人のアバンギャルド	金森 馨	1959	ポスター	NPO 法人舞踏創造資源
16	土方巽と日本人： 肉体の叛乱	デザイン：横尾忠則、 写真：細江英公	1968	ポスター	NPO 法人舞踏創造資源
17	高井富子舞踏公演 まんだら屋敷	清水晃	1968	ポスター	NPO 法人舞踏創造資源
18	暗黒舞踊派提携記念公演 バラ色ダンス	横尾忠則	1965	ポスター	NPO 法人舞踏創造資源
19	増産	小野佐世男	1951 頃	油彩、キャンバス	小野耕世蔵
20	飽和状態	小野佐世男	1950 頃	油彩、キャンバス	小野耕世蔵
21	エプロンステージ	小野佐世男	1950 頃	油彩、キャンバス	小野耕世蔵
22	Mother's #42	石内都	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	©Ishiuchi Miyako
23	Mother's 25 MAR 1916 #53	石内都	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	©Ishiuchi Miyako
24	Mother's 25 MAR 1916 #13	石内都	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	©Ishiuchi Miyako
25	Mother's #48	石内都	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	©Ishiuchi Miyako
26	Scars #45 25 MAR 1916	石内都	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	©Ishiuchi Miyako



27	Mother's 1916 #22	25 MAR	石内都	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	作家蔵
28	Mother's #19		石内都	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	作家蔵
29	空との距離 III		日高理恵子	2004	麻紙、岩絵の具	群馬県立館林美術館
30	空との距離 III		日高理恵子	2004	麻紙、岩絵の具	群馬県立館林美術館
31	空との距離 III		日高理恵子	2004	麻紙、岩絵の具	群馬県立館林美術館
32	上海ドラゴン 1		今井紀彰	2008	写真コラージュ	
33	上海ドラゴン 2		今井紀彰	2008	写真コラージュ	
34	無題		多和圭三	1984	鉄	
35	ハッチング		多和圭三	2008	鉄	
36	岡本太郎美術館 公開制作作品		日比野克彦	2013	ダンボール、アクリル絵具	作家蔵
37	ERROR		日比野克彦	1982	ダンボール、アクリル絵具、色鉛筆、墨	岐阜県美術館
38	PRESENT TRUCK		日比野克彦	1982	ダンボール、ボール紙、クラフト紙、アクリル絵具、色鉛筆、墨	岐阜県美術館
39	PRESENT SHOE		日比野克彦	1982	ダンボール、ボール紙、新聞紙、アクリル絵具、墨汁、色鉛筆、ジェッソ	岐阜県美術館
40	PRESENT SOCCER		日比野克彦	1982	ダンボール、ボール紙、アクリル絵具、墨汁、色鉛筆、ジェッソ	岐阜県美術館
41	DELICATE Lovers-II		中山ダイスケ	1996	FRP アルミニウム 布	Gallery Q
42	CAMOUFLAGE 1996-20		中山ダイスケ	1996	熊の罫、鉄、板、アクリル	Gallery Q
43	卓の少年-太陽、月		棚田康司	2015	樟の一本に着彩、レース	
44	衛る少女		棚田康司	2007	樟の一本に着彩、レース糸	
45	きみといつまでも		横井山泰	2008	油彩・キャンバス	個人蔵
46	わるいくせ		横井山泰	2002	アクリル・キャンバス	作家蔵
47	鳳凰		安藤榮作	2019	檜	
48	空気の狭間		安藤榮作	2018	檜	
49	空気の狭間		安藤榮作	2018	檜	
50	転校生/スピードブレード		藤井健仁	2016	鉄、チタン、プラスチック	京都場
51	鉄面皮/形代かえしTK		藤井健仁	2014	鉄	
52	彫刻刑 鉄面皮 SA		藤井健仁	2002	鉄	宮台真司蔵
53	Iron to Iron 2		藤井健仁	2017	隕鉄、黄鉄鉱	
54	鉄面皮 Extended H		藤井健仁	2006	鉄	玉置一郎蔵
55	ハンマー 8		藤井健仁	2018	鉄、木	

56	鉄面皮 Extended PP	藤井健仁	2008	鉄	
57	海から離れて7 フェノミーナ	藤井健仁	2014	鉄、ガーゼ	
58	音のかけら—テーブル 57memories	金沢健一	2007	鉄、ゴム	
59	VIBRATILE SHAPE	金沢健一	2003	映像（約30分）	
60	DIFFERENCE	ヒグマ春夫	2001	映像	
61	物質の変声期 M の場合	村上善男	1964	耐水ベニヤ、ミクストメディア （新聞紙型・注射針・ポリエス テル）	東京都現代美術館
62	Polymerization-N.V(w) の場合または腔内弾道 学	村上善男	1963	耐水ベニヤ、ミクストメディア （紙・注射針・フィルム・的・ 下地・ポリエステル）	東京都現代美術館
63	R気団 76-7	村上善男	1976	アクリル、コラージュ、キャン バス	横浜市民ギャラリー
64	風蝕 76-9	村上善男	1976	アクリル、コラージュ、キャン バス	横浜市民ギャラリー
65	回転シーソー	佐藤慶次郎	1974/2017 （再制作）	アクリル棒、ナイロンテグス、 発砲スチロール、マグネット・ リング、人工大理石	個人蔵
66	オーバー ザ ウェーブス	佐藤慶次郎	1974/2017 （再制作）	ステンレス線、マグネット・リ ング、紙、アクリル	個人蔵
67	オテダマ	佐藤慶次郎	1974 頃 /2017（再 制作）	アクリル棒、マグネット・リン グ、木	個人蔵
68	尺トリムシ	佐藤慶次郎	1974/2017 （再制作）	アルミ線、アルミ板、マグネッ ト・リング、人工大理石	個人蔵
69	トウィン	佐藤慶次郎	1974 頃 /2019（再 制作）	銅線、マグネット・リング、ア クリル板	個人蔵
70	シーラカンス	北代省三	1953/1990 （再制作）	鉄、真鍮、塗装	岡本太郎美術館
71	スペース・モデュレー ター	北代省三	1956/1992 （再制作）	木、和紙	岡本太郎美術館
72	楽園喪失（回転する面 による構成）	北代省三	1952-53 頃	油彩、合板、カルトン	東京都現代美術館
73	回転する面による構成	北代省三	1951 頃	油彩、キャンバス	東京都現代美術館
74	空中都市	北代省三	1952	油彩、カルトン	岡本太郎美術館
75	少女と太陽	北代省三	1948/1989 （再制作）	油彩、キャンバス	岡本太郎美術館
76	永久運動	北代省三	1951	油彩、カルトン	岡本太郎美術館
77	鼻 百仮面シリーズ	池田龍雄	1960	インク、鉛筆、水彩・紙	岡本太郎美術館
78	ゆりかご 化け物の系 譜シリーズ	池田龍雄	1956	インク、鉛筆、水彩・紙	岡本太郎美術館

79	網元	池田龍雄	1953	インク、コンテ、油彩、紙	東京都現代美術館
80	倉庫（A）	池田龍雄	1957	インク、コンテ、油彩、紙	東京都現代美術館
81	アトラス	池田龍雄	1960	ペン、インク、コンテ、和紙、 パネル	東京都現代美術館
82	10000 カウント（反原爆シリーズ）	池田龍雄	1954	インク、コンテ、水彩、紙	東京都現代美術館
83	「実験工房」関連資料	北代省三アーカイブ	1951-1957		岡本太郎美術館
84	「制作者懇談会」関連資料	池田龍雄アーカイブ	1955-1957		岡本太郎美術館
85	内灘スケッチ	池田龍雄	1953		岡本太郎美術館
86	100の白熱灯のための接点 #3	タムラサトル	2019	白熱球、鉄、アルミ、モータ、 配線、他	
87	青い惑星	山口勝弘	1955	絵具、片板ガラス、ミクストメディア	
88	フジツボ	山口勝弘	1966	アクリル、電球、他	
89	Temperament	栗野ユミト	2019	大気三態、金属、精麻	
90	閼 ※1	栗野ユミト	2019	コーティングした角砂糖、ピアノ線、フローラルフォーム、集音器	
91	パイラ人ー岡本太郎に捧げるバボット ※2	高橋士郎			

※1 屋外（母の塔横）に展示

※2 屋外（カフェテリア テラス席横）に展示 / 土日祝日限定

## 企画展

### 「第 23 回岡本太郎現代芸術賞（TARO 賞）」展

会 期	2020 年 2 月 14 日（金）～ 4 月 10 日（金） ※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、会期を予定より 2 日前倒して終了。
開催日数	49 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館、 公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団
観 覧 料	一般 900（720）円、高・大学生・65 歳以上 700（560）円、 中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
入場者数	8,778 名
1 日平均	179 名（小数点以下、四捨五入）
図 録	A5
ポスター	B2
チ ラ シ	長 3 形
出品点数	23 点
担 当 者	佐藤玲子、佐藤明由美、千村曜子



リーフレット



DM



展示風景

#### 【開催趣旨】

時代に先駆けて、たえず新たな挑戦を続けてきた岡本太郎。岡本太郎現代芸術賞は、岡本の精神を継承し、自由な視点と発想で、現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰するべく設立されました。今年で 23 回目をむかえる本賞では、452 点の応募があり、創造性あふれる 23 名（組）の作家が入選。また最終審査を経て、岡本太郎賞 1 名、岡本敏子賞 1 名、特別賞 5 名が決定した。

#### 【受賞者】

岡本太郎賞	野々上聡人《ラブレター》
岡本敏子賞	根本裕子《野良犬》
特 別 賞	澤井昌平《風景》
特 別 賞	藤原千也《太陽のふね》
特 別 賞	本濃研太《僕の DNA が知っている》
特 別 賞	村上力《㊤一品洞「美術の力」》
特 別 賞	森貴之《View Tracing》



野々上聡人《ラブレター》

#### 【主要関連記事・TV・ラジオ放送】

- 安田栄治「生きた心宿る力作 集結 現代芸術賞 23 作品展示」『東京新聞』2020 年 2 月 19 日（水）
- 鈴木崇宏「創造性豊か 入選 23 作品」『神奈川新聞』2020 年 2 月 22 日（土）
- 「岡本太郎賞に野々上さん ベラボーな芸術 絶賛」『読売新聞』2020 年 2 月 19 日（水）
- 久才秀樹「岡本太郎賞特別賞 道内ゆかり 2 作家」『北海道新聞』2020 年 3 月 5 日（木）夕刊
- 井上晋治「美感 生の歓び 爆発的に 野々上聡人「ラブレター」」『読売新聞』2020 年 3 月 18 日（水）夕刊
- 村田真「artscape レビュー 第 23 回岡本太郎現代芸術賞（TARO 賞）」artscape 2020 年 4 月 1 日号

## 【関連事業】

### ■第 23 回 TARO 賞ギャラリートーク ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

日程・作家	2020 年 3 月 1 日（日）	笹田 晋平、高島 亮三、桂 典子、村田 勇氣、浅川 正樹
	2020 年 3 月 15 日（日）	本濃 研太、水戸部 春菜、森 貴之、藤田 淑子、丸山 喬平、そんたくズ
	2020 年 3 月 20 日（金祝）	野々上 聡人、澤井 昌平、井上 直、村上 力、大小田 万侑子
	2020 年 4 月 12 日（日）	大石 早矢香、藤原 千也、根本 裕子、松藤 孝一、小嶋 晶
場 所	企画展示室	
時 間	各日とも 14:00～	
料 金	無料（要観覧料）	

### ■お気に入りを選ぼう！

日 時	2020 年 2 月 14 日（金）～3 月 22 日（日）	
内 容	展示されている 23 点の TARO 賞作品の中から、来館者がお気に入りの作品を選ぶイベント。受付でもらったカードに付いている赤いシールを、企画展示室出口にある投票ボードに貼って投票しました。	
場 所	ギャラリースペース	
投票結果	1 位 森 貴之 《View Tracing》	
	2 位 野々上聡人 《ラブレター》	
	3 位 松藤孝一 《世界の終わりの始まり》	
	4 位 本濃研太 《僕の DNA が知っている》	
	5 位 根本裕子 《野良犬》	

### ■お手紙プロジェクト

日 時	2020 年 2 月 14 日（金）～4 月 10 日（金）	
内 容	来館者が、第 23 回 TARO 賞展の入選作家や作品に向けて、自分の思いや感想を手紙に書いてポストに投函します。書かれた手紙はギャラリーの壁に展示し、作家から返事がもらえることも。来館者と作家が手紙を通じてつながるプロジェクトです。	
場 所	ギャラリースペース	

## 【出品リスト】

No.	作家名	作品名	材質・形状
1	浅川 正樹	1960 年、1961 年、1962 年、1963 年、1964 年、1965 年の圧縮された記憶の蘇生	アクリルプリント、プリント写真、画用紙、クレヨンなど
2	井上 直	V 字鉄塔のある惑星 A	キャンバスにアクリルと鉛筆
3	大石 早矢香	双対-birth and death-	陶、ガラス、木
4	大小田 万侑子	「おぼち、すすぢ、まぢち、うるぢ」	木布に藍と顔料、和紙、木材
5	桂 典子	しょくどう	綿布、麻布、アクリル絵具、陶器
6	小嶋 晶	生のダブルバインド	ミクストメディア
7	笹田 晋平	Jericho's raft and fifteen guardians ～ジェリコーの筏と 15 人の守護者～	キャンバス、油絵の具、写真、布、その他
8	佐藤 圭一	おねすと	スタイロフォーム、木、紙、塩化ビニール、鉄、合板
9	澤井 昌平	風景	キャンバス、アクリル絵具、油彩、コラージュ
10	そんたくズ	そんたくズ岡本太郎美術館記念コントライブ ～死ぬのはお前だ！アジア初の逆デュシヤン展～	コント、チラシ 108 種、木材、布、照明、スピーカー、紙、イスなど

11	高島 亮三	1984+36	鉄に鍍金
12	根本 裕子	野良犬	陶土
13	野々上 聡人	ラブレター	杉、檜、シナ等、キャンバス、板に油彩等、映像
14	春田 美咲	drawing	ミクストメディア
15	藤田 淑子	Curtain Girls	アクリル絵具、ベニヤ板、ロールキャンバス、ニス
16	藤原 千也	太陽のふね	木（柳）
17	本濃 研太	僕の DNA が知っている	ダンボール、アクリル絵の具、木材、ボイド管
18	松藤 孝一	世界の終わりの始まり	ウランガラス、ギフチヨウ（60~80年代標本）、テーブル、白熱灯
19	丸山 喬平	幸について	単管、木材、鉄、断熱材
20	水戸部 春菜	running man	キャンバス、インク、木材、アクリル絵の具
21	村上 力	㊦一品洞「美術の力」	麻布、漆、木、紙、鉄、陶土、樹脂、他
22	村田 勇氣	任意のアトリビュート	木、その他
23	森 貴之	View Tracing	糸、オブジェ、ブラックライト、木材

## 2. 常設展

### 岡本太郎美術館 20周年記念「開運 岡本“福”太郎」展

会 期	2019年10月19日(土)～2020年1月13日(月祝)
開催日数	68日
観覧料	一般500(400)円、高大学生・65歳以上300(240)円 中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金
出品点数	約180点(テーマ展示室含む)
担当者	篠原優、大杉浩司



ポスター

#### 【開催趣旨】

1999年に開館した岡本太郎美術館は今年で20年の節目を迎えました。今回、常設展示室は約半年の休室を経て、「開運」をテーマとした展示を開催しました。岡本太郎は油彩や彫刻に留まらず、版画やインテリア、グラフィック、写真、著述など幅広い制作を行っています。一方で、逆境や危険にあえて立ち向かう岡本の芸術は一貫して力強いエネルギーを持っています。

本展では開館20周年を記念し、岡本の様々なジャンルの作品を集結させました。また、ご来館いただいた皆さまの運が開けることを願い、岡本の重要なモチーフである「太陽」をはじめとした縁起のよい色・形・主題を、高天麗舟氏の特別監修による風水調整を取り入れた展示構成にて紹介しました。

#### 【出展作品リスト】(※の作品は個人蔵)

No.	作家名	作品名	材質・技法	制作年
1	岡本太郎	手一赤	FRP	1981
2	岡本太郎	手一青	FRP	1981
3	岡本太郎	若い太陽の塔	FRP	1969
4	岡本太郎	駄々っ子	キャンバス、油彩	1951
5	岡本太郎	重工業	キャンバス、油彩	1949
6	岡本太郎	マスク	キャンバス、油彩	1959
7	岡本太郎	傷ましき腕	キャンバス、油彩	1936/49
8	岡本太郎	夜	キャンバス、油彩	1947
9	岡本太郎	空間	キャンバス、油彩	1934/54
10	岡本太郎	美女と野獣	キャンバス、油彩	1949
11	岡本太郎	敗惨の歎き	水彩・紙	1925
12	岡本太郎	大玉送り	インク・紙	1968 ※
13	岡本太郎	大玉送り	インク・紙	1968
14	岡本太郎	春	鉛筆・インク・紙	1947
15	岡本太郎	かの子撩乱	インク・紙	1965
16	岡本太郎	かの子撩乱	インク・紙	1962-64
17	岡本太郎	躍進	FRP	1972

18	岡本太郎	国鉄民営化記念オリジナルレリーフ 《出発》	FRP	1987
19	岡本太郎	行く	油彩・紙	1962
20	岡本太郎	ノン	油彩・紙	1962
21	岡本太郎	黒い生き物	油彩・紙	1961
22	岡本太郎	ポジション	油彩・紙	1962
23	岡本太郎	ふたり	油彩・紙	1962
24	岡本太郎	二人	油彩・紙	1962
25	岡本太郎	遊ぶ子	油彩・紙	1962
26	岡本太郎	ふたり	油彩・紙	1962
27	岡本太郎	哄笑	ステンドグラス	1986
28	岡本太郎	樹霊 I	FRP	1970
29	岡本太郎	ほおずえ	FRP、布、金属	1968
30	岡本太郎	夢の樹	FRP	1983
31	岡本太郎	樹霊 II	FRP	1971
32	岡本太郎	赤い手	FRP	1981
33	岡本太郎	青い手	FRP	1981
34	岡本太郎	犬の植木鉢	陶磁	1955
35	岡本太郎	平和を呼ぶ	FRP	1988
36	岡本太郎	顔の植木鉢	陶磁	1988
37	岡本太郎	黒い顔	FRP	1968
38	岡本太郎	河童像	FRP	1981
39	岡本太郎	むすめ	陶磁	1967
40	岡本太郎	ティーテーブル 遊び	木、金属	1967
41	岡本太郎	喜	紙、木、漆	1984
42	岡本太郎	信州野沢温泉 湯	竹、和紙	制作年不明
43	岡本太郎	未来を拓く	ブロンズ	1967
44	岡本太郎	健康絵馬《太陽》《龍》	木	1987
45	岡本太郎	歩み	陶磁	1967
46	岡本太郎	技	竹、紙	1984
47	岡本太郎	太陽	FRP	1985
48	岡本太郎	まひるの生物	キャンバス、油彩	1962
49	岡本太郎	風	キャンバス、油彩	1972
50	岡本太郎	流れる夢	キャンバス、油彩	1975
51	岡本太郎	赤のイコン	キャンバス、油彩	1961
52	岡本太郎	風神	キャンバス、油彩	1961
53	岡本太郎	炎	リトグラフ・油彩・紙	1988



54	岡本太郎	愛	リトグラフ・紙	1981
55	岡本太郎	夢	リトグラフ・油彩・紙	1988
56	岡本太郎	立つ人	油彩・紙	1962
57	岡本太郎	太陽の塔	RC、FRP	1970
58	岡本太郎	なまはげ/秋田	写真パネル	1957
59	岡本太郎	おしらさま/岩手	写真パネル	1957
60	岡本太郎	花田植え/広島	写真パネル	1963
61	岡本太郎	かまくらを作る少女/秋田	写真パネル	1957
62	岡本太郎	かまくらのある町/秋田	写真パネル	1957
63	岡本太郎	鬼剣舞/岩手	写真パネル	1957
64	岡本太郎	芸者/大阪	写真パネル	1957
65	岡本太郎	法善寺横丁/大阪	写真パネル	1957
66	岡本太郎	ジャグル/メキシコ	写真パネル	1967
67	岡本太郎	トラコルーラの市場/メキシコ	写真パネル	1967
68	岡本太郎	動物	RC	1959
69	岡本太郎	坐ることを拒否する椅子	陶磁	1963
70	岡本太郎	駄々っ子	FRP	1969
71	岡本太郎	手の椅子	FRP	1970
72	岡本太郎	ひもの椅子	木、紐	1967-2005
73	岡本太郎	サイコロ椅子	藤	1957-2005
74	岡本太郎	太郎鯉	布	1981
75	岡本太郎	不明（大漁旗）	綿	1990
76	岡本太郎	飛行船《レインボー号》	FRP	1973
77	岡本太郎	マスク	FRP	1970
78	岡本太郎	若い太陽の顔	FRP	1969
79	岡本太郎	リョウラン	FRP	1989
80	岡本太郎	原色卓	木、金属	1967
81	岡本太郎	天に舞う	油彩・ベニヤ板	1974
82	岡本太郎	雷神	陶磁	1978
83	岡本太郎	風神	陶磁	1978
84	岡本太郎	ひとみ	ガラス	1980
85	岡本太郎	不明	ガラス	制作年不明
86	岡本太郎	太郎の手の時計	FRP	1972
87	岡本太郎	顔のグラス	ガラス	1976
88	岡本太郎	ひもの椅子	木、紐	1967-2005
89	岡本太郎	顔の椅子	木	1953
90	岡本太郎	風鐸	ブロンズ	1966

91	岡本太郎	瑞鳥	FRP	1987
92	岡本太郎	神話	白銅	1980
93	岡本太郎	樹霊 I	FRP	1970
94	岡本太郎	女神像	FRP	1979
95	岡本太郎	歓びの鐘	FRP	1993
96	岡本太郎	誇り	FRP	1962
97	岡本太郎	祭り	FRP	1985
98	岡本太郎	若い時計台	アルミ、RC、金属、時計、ライト	1966
99	岡本太郎	樹人	FRP	1971
100	岡本太郎	顔	木、漆（春慶塗）	制作年不明
101	岡本太郎	つどい	陶磁	1988
102	岡本太郎	むすめ	陶磁	1967
103	岡本太郎	不明	陶磁	制作年不明
104	岡本太郎	歩み	陶磁	1967
105	岡本太郎	山姥	陶磁	1980
106	岡本太郎	午後の日	ブロンズ	1967
107	岡本太郎	愛情	ガラス	1965
108	岡本太郎	緑の太陽	ガラス	1969
109	岡本太郎	顔	ガラス	1990
110	岡本太郎	まつげ	ガラス、ステンレス	1978
111	岡本太郎	人間ボトル	陶磁	1985
112	岡本太郎	火の接吻	セラミック、プラスチック	1970
113	岡本太郎	太陽	プラスチック	1965
114	岡本太郎	顔	革	1978
115	岡本太郎	夢の鳥	陶磁	1977
116	岡本太郎	東京オリンピック参加記念メダル	ブロンズ	1964
117	岡本太郎	札幌オリンピック冬季大会記念メダル	ブロンズ	1972
118	岡本太郎	オリンピックミュンヘン大会 公式参加メダル	ブロンズ	1972
119	岡本太郎	オリンピックミュンヘン大会 公式参加メダル	銀	1972
120	岡本太郎	日中テレビ祭 日本代表団メダル	アルミ	1984
121	岡本太郎	国際眼科学会メダル	ブロンズ	1978
122	岡本太郎	フランス造幣局メダル	金属	1986
123	岡本太郎	国鉄民営化記念オリジナルメダル《出発》	銀	1987
124	岡本太郎	トランプ	紙	制作年不明
125	岡本太郎	いのち	アルミ	1986

126	岡本太郎	手の椅子	プラスチック	1970
127	岡本太郎	日本海博覧会	金属	1973
128	岡本太郎	太陽の顔	金属	制作年不明
129	岡本太郎	太陽の顔	金属	1970
130	岡本太郎	花ひらく	陶磁	1977
131	岡本太郎	顔	陶磁	1952
132	岡本太郎	爆発	陶磁	1981
133	岡本太郎	ほほえみ	陶磁	1986
134	岡本太郎	動物	ブロンズ	1956
135	岡本太郎	喜び	FRP	1969
136	岡本太郎	夜の会合	シルクスクリーン・紙	1974
137	岡本太郎	梵鐘・歓喜	ブロンズ	1965
138	岡本太郎	光る彫刻	FRP	1967
139	岡本太郎	子供の時間	シルクスクリーン・紙	1974
140	岡本太郎	リョウラン	リトグラフ・紙	1976
141	岡本太郎	眼	リトグラフ・紙	1975
142	岡本太郎	黒い生き物	リトグラフ・紙	1962
143	岡本太郎	赤	シルクスクリーン・紙	1974
144	岡本太郎	風	リトグラフ・紙	1980
145	岡本太郎	黒い太陽	リトグラフ・紙	1980
146	岡本太郎	エクセホモ	シルクスクリーン・紙	1974
147	岡本太郎	顔の大壺	陶磁	1987
148	岡本太郎	四面の壺	陶磁	1980
149	岡本太郎	歓喜	陶磁	1977
150	岡本太郎	呼ぶ	リトグラフ・紙	1976
151	岡本太郎	横たわる	陶磁	1981
152	岡本太郎	踊り	陶磁	1982
153	岡本かの子書 岡本一平画	不明	紙、墨	制作年不明
154	岡本一平	チャップリンせんべい	紙、絵具	制作年不明
155	岡本一平画 島崎藤村作	藤村いろは歌留多	印刷物	1927/1980 (復刻版)
156	瀬戸内晴美著 岡本太郎装丁	かの子撩乱	書籍	1965
157	岡本一平	不明	和紙、墨	制作年不明
158	岡本一平	天下泰平の意	和紙、絵具	制作年不明

159	太陽の塔 立面図	鉛筆・トレーシングペーパー	1970 年頃
160	生命の樹 ドローイング	鉛筆・紙	1968
161	岡本太郎が所有していた民芸品		
162	挑む岡本太郎展 ナビオギャラリー	ポスター	1980
163	国立劇場開場記念《古楽演奏会》 管弦聲明	ポスター	1967
164	信州野沢温泉 湯	ポスター	1983
165	太郎爆発 岡本太郎 生命・空間のドラマ 松屋銀座	ポスター	1968
166	縄文の炎 第 16 回岩手・藤沢野焼祭	ポスター	1991
167	信州野沢温泉 遊 湯	ポスター	1992
168	自由な私 高知市制 100 周年 自由	ポスター	1989
169	挑み 燃え ひらく —岡本太郎 TARO 展 日本橋高島屋	ポスター	1976
170	熱情一番 下町 LIVE'90 東京・下町ライブ計画実行委員会	ポスター	1990
171	信州野沢温泉 湯	ポスター	1983
172	挑む TARO 展 福岡岩田屋	ポスター	1977
173	第十二回創作舞踊作品公演 鬼婆 社団法人日本舞踏協会	ポスター	1977
174	生命。つたわる。 国鉄 九州	ポスター	1986
175	川崎生まれの鬼才 岡本太郎展 川崎市市民ミュージアム	ポスター	1991
176	平成あったか場所 箱根彫刻の森美術館	ポスター	1990
177	古河市文化講演会 芸術と人生 古河市・古河市教育委員会・文化協会	ポスター	1979
178	人生〇I〇I 丸井	ポスター	1981
179	おっ、顔がかわったな。 岡本太郎新作「顔のグラス」 キリン・シーグラム株式会社	ポスター	1977

## 常設展

### 「岡本太郎“聖家族”」展

会 期	2020年1月17日(金)～4月10日(金) ※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、会期を予定より 2日前倒しで終了。
開催日数	85日
観 覧 料	一般500(400)円、高大学生・65歳以上300(240)円 中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金
出品点数	約130点(テーマ展示室含む)
担 当 者	佐藤明由美、大杉浩司



ポスター

#### 【開催趣旨】

漫画家である父・岡本一平と、小説家であり歌人の母・岡本かの子を両親に持つ岡本太郎。家族と関わりの深かった小説家・川端康成は、この家族を“聖家族”と呼びました。

太郎自身も「父母に感謝することがあるとすれば、常に同等な友人のように扱ってくれたことだ」と語るように、この家族は夫婦、親子が一個の独立した人格として対等な関係で結ばれているような、当時においてはたぐい稀な家族形態でした。一方で全く異質な芸術家の共同生活には「想像もできない絶望的な矛盾」があったとも語られ、その中で起こるさまざまな葛藤の中で、太郎は成長していきます。

本展では、岡本太郎・一平・かの子の作品も紹介するとともに、彼らの日常生活を写す日用品や写真を展示し、芸術に生きた一家の足跡を辿ります。

#### 【関連イベント】

##### ■花音による「朗読とおしゃべりトーク」～太郎が語る両親の思い出～

日 時	2020年2月22日(土) ①15:00～15:30 ②17:30～18:30
内 容	朗読ユニット「花音」による朗読イベント。太郎氏が語る両親への思い出や、両親とのやりとりが綴られたエッセイや手紙などを、お喋りをはさみながら紹介しました。
場 所	常設展示室
出 演	花音(朗読ユニット)
料 金	①無料(要観覧料) ②500円(常設展示室入館料として)
参加者数	①32名 ②15名

##### ■結純子ひとり芝居 岡本かの子「太郎への手紙」 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

日 時	2020年3月29日(日) ①15:00～15:30 ②17:30～18:30
内 容	母かの子が息子太郎に宛てた手紙の数々。それらをもとに、女優・結純子が岡本かの子を演じます。
場 所	常設展示室
出演・脚本	結 純子(女優・演出家)
演 出	Natti夏子
料 金	①無料(要観覧料) ②500円(常設展示室入館料として)

## 【出品リスト】

作者/所有者	作品名	材質・技法等	制作年/発行年
岡本太郎	邂逅	FRP	1971
岡本太郎	顔	陶磁	1952
岡本太郎	愛撫	キャンバス、油彩	1964
岡本太郎	傷ましき腕	キャンバス、油彩	1936(1949)
岡本太郎	観音様	紙、墨、絵具	1950 頃
書：岡本かの子 画：岡本一平	かの子観音	紙、墨、絵具	制作年不明
岡本太郎	森の家族	キャンバス、油彩	1983
岡本一平	ひな人形飾	絹、墨、絵具	制作年不明
岡本一平	漱石八態	紙、墨、絵具	制作年不明
岡本かの子	女体開頭	書籍	1943
岡本かの子	観音経（巻物）	紙	制作年不明
岡本かの子	白梅	絹、墨	制作年不明
岡本一平	トランク	-	-
岡本一平	オーバーコート	洋服	-
岡本一平	燕尾服	洋服	-
岡本かの子	ワンピース（黒サテン）	洋服	-
岡本かの子	ワンピース（黒レース）	洋服	-
岡本かの子	ワンピース（茶サテン）	洋服	-
岡本かの子	オーバーコート（茶毛皮）	洋服	-
岡本かの子	羽根扇（桃）	-	-
岡本かの子	羽根扇（青）	-	-
岡本かの子	ネックレス	-	-
岡本かの子	ロケット	-	-
岡本かの子	着物	-	-
岡本太郎	愛	FRP	1961
岡本太郎	訣別	キャンバス、油彩	1973
岡本太郎	母と子	キャンバス、油彩	1982
岡本太郎	二人	キャンバス、油彩	1985
岡本太郎	駄々っ子	キャンバス、油彩	1980
岡本太郎	喫煙者	キャンバス、油彩	1951
岡本太郎	哄笑（ステンドグラス）	ガラス	1986
岡本太郎	誘う	キャンバス、油彩	1982
岡本太郎	黒い生きもの	キャンバス、油彩	1961
岡本太郎	女	キャンバス、油彩	1978
岡本太郎	玉を抱く女	キャンバス、油彩	1988
岡本太郎	敗惨の歎き	紙、絵具	1925

-	太陽の塔内部写真	-	-
岡本太郎	万博の鍵	FRP	1970
岡本太郎	太陽の塔	RC、FRP	1970
岡本一平	破れ壁や達磨を覗く	紙、墨、絵具	制作年不明
岡本一平	浄裸々赤酒々	紙、墨、絵具	制作年不明
岡本一平	三党首	紙、墨	制作年不明
岡本一平	三党首	紙、墨	制作年不明
岡本一平	再会の悦び	紙、墨、絵具	制作年不明
岡本一平・かの子	一平・かの子書画卷	-	制作年不明
岡本一平	ある夫婦の六態・ 浮世六態	紙、墨、絵具	制作年不明
岡本一平	The Graphic	イギリスのイラスト入り週刊新聞	1930
作詞：岡本一平 作曲：飯田信夫	SP レコード盤「隣組」	レコード	1940
岡本かの子	生々流転	書籍	1940
岡本かの子	老妓抄 川	書籍	1939
岡本かの子	河明り	書籍	1939
岡本かの子	歌集 深見草	書籍	1940
岡本かの子	短篇集 鮎	書籍	1941
岡本かの子	かるきねたみ	書籍	1912
岡本かの子	愛のなやみ	書籍	1918
岡本かの子	鶴は病みき	書籍	1936
岡本かの子	金魚撩乱	書籍	1937
著：中野愚堂 表紙：岡本太郎	かの子観音	書籍	1962
岡本かの子	散華抄	書籍	1929
岡本かの子	観音経 附法華経	書籍	1934
岡本一平	かの子の記	書籍	1942
岡本太郎	記念撮影	紙、リトグラフ	1975
岡本太郎	子供の時間	紙、シルクスクリーン	1974
岡本太郎	赤	紙、シルクスクリーン	1974
岡本太郎	母	紙、リトグラフ	1981
岡本太郎	愛	紙、リトグラフ	1981
岡本太郎	動物	RC	1959
岡本太郎	坐ることを拒否する椅子	陶磁	1963
岡本太郎	駄々っ子	FRP	1969
岡本太郎	手の椅子	FRP	1970
岡本太郎	ひもの椅子	木、紐	1967-2005
岡本太郎	サイコロ椅子	藤	1957-2005
岡本太郎	天に舞う	木、絵具	1974

岡本太郎	天に舞う	FRP	1974
岡本太郎	飛行船「レインボー号」	FRP	1973
岡本太郎	マスク	FRP	1970
岡本太郎	若い太陽の顔	FRP	1969
岡本一平	独身者の独酌	-	制作年不明
岡本かの子	着物	-	-
岡本太郎	樹霊Ⅱ	FRP	1971
岡本太郎	河童像	FRP	1981
岡本太郎	若い時計台	アルミ、RC、金属、時計、ライト	1966
岡本太郎	月の顔	FRP	1981
岡本太郎	誇り	FRP	1962
岡本太郎	母の塔	FRP	制作年不明
岡本太郎	リョウラン	FRP	1989
岡本太郎	樹人	FRP	1971
岡本太郎	風鐸	ブロンズ	1966
岡本太郎	顔	木、漆（春慶塗）	制作年不明
岡本太郎	つどい	陶磁	1988
岡本太郎	むすめ	陶磁	1967
岡本太郎	不明	陶磁	制作年不明
岡本太郎	歩み	陶磁	1967
岡本太郎	山姥	陶磁	1980
岡本太郎	午後の日	ブロンズ	1967
岡本太郎	愛情	ガラス	1965
岡本太郎	緑の太陽	ガラス	1969
岡本太郎	顔	ガラス	1990
岡本太郎	まつげ	ガラス・ステンレス	1978
岡本太郎	人間ボトル	陶磁	1985
岡本太郎	火の接吻	セラミック・プラスチック	1970
岡本太郎	太陽	プラスチック	1965
岡本太郎	顔	革	1978
岡本太郎	夢の鳥	陶磁	1977
岡本太郎	東京オリンピック参加 記念メダル	ブロンズ	1964
岡本太郎	札幌オリンピック 冬季大会記念メダル	ブロンズ	1972
岡本太郎	オリンピックミュンヘン 大会公式参加メダル	ブロンズ	1972
岡本太郎	オリンピックミュンヘン 大会公式参加メダル	銀	1972
岡本太郎	日中テレビ祭 日本代表 団メダル	アルミ	1984



岡本太郎	国際眼科学会メダル	ブロンズ	1978
岡本太郎	フランス造幣局メダル	金属	1986
岡本太郎	国鉄民営化記念オリジナルメダル《出発》	銀	1987
岡本太郎	トランプ	紙	制作年不明
岡本太郎	いのち	アルミ	1986
岡本太郎	手の椅子	プラスチック	1970
岡本太郎	日本海博覧会	金属	1973
岡本太郎	太陽の顔	金属	制作年不明
岡本太郎	太陽の顔	金属	1970
岡本太郎	花ひらく	陶磁	1977
岡本太郎	顔	陶磁	1952
岡本太郎	爆発	陶磁	1981
岡本太郎	ほほえみ	陶磁	1986
岡本太郎	動物	ブロンズ	1956
※岡本太郎	群像	モザイクタイル	1952
岡本太郎	梵鐘・歓喜	ブロンズ	1965
岡本太郎	光る彫刻	FRP	1967
岡本太郎	顔の大壺	陶磁	1987
岡本太郎	四面の壺	陶磁	1980
岡本太郎	歓喜	陶磁	1977
岡本太郎	横たわる	陶磁	1981
岡本太郎	踊り	陶磁	1982

※岡本太郎記念館蔵

### 3. 共催・協力企画展

#### (1) 「岡本太郎」展

会 場	大分県立美術館
会 期	2019年12月26日（木）～2020年1月24日（金）
主 催	公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館
共 催	大分合同新聞、TOS テレビ大分
企画協力	川崎市岡本太郎美術館
後 援	大分県、大分県教育委員会、NPO 法人大分県芸術振、西日本新聞社、J.COM 大分ケーブルテレコム株式会社、エフエム大分
貸出点数	186点



## 4. 収集・保存・貸出

### 収集作品及び資料（購入）

作者名	作品名	寄贈元	摘要
池田龍雄	《「ゆりかご」化け物の系譜シリーズ》 インク、鉛筆、水彩・紙 1956年	池田龍雄	¥595,000 (税別)
池田龍雄	池田龍雄《内灘スケッチ》(計12点) 鉛筆、コンテ・紙 1953年	池田龍雄	¥240,000 (税別)

### 寄贈作品・資料

作者名	作品名	寄贈元	摘要
岡本太郎	岡本太郎関連・収集グッズ一式	岡本太郎記念館	
岡本太郎	岡本太郎関連グッズ一式	(株) ミュージアムクルー	
不詳	太陽の塔関連図面	大杉 浩司	
岡本太郎	札幌オリンピック冬季大会記念メダル	西川恵理子	
岡本太郎	オリエント中村・グラフィック・デザイン箱	藤井 健仁	

### 作品修復

作品名	作者名	制作年	分類	作品番号	修復内容	修復者
エクセホモ	岡本太郎	1963	油彩	1000053	亀裂部接着、絵具剥落部充填、同充填部補彩、保護膜塗布	有限会社 吉村美術 研究所
ツラ	岡本太郎	1983		1000001	黴孢子除去、亀裂部接着、画面洗淨、手垢除去、絵具剥落部充填、同充填部補彩、擦傷部修復、保護膜塗布	
翔ぶ赤	岡本太郎	1979		1000093		
顔・顔・顔	岡本太郎	1980		1000097		
にらめっこ	岡本太郎	1980		1000098		
めざめ	岡本太郎	1980		1000100		
幻花	岡本太郎	1983		1000110		

## 作品額装

作品名	作者名	制作年	分類	作品番号	修復内容	修復者
未来を見た	岡本太郎	1971	油彩	1000065	既存の額縁をはずし、新たな額装を行った	有限会社 メセナ
仮面劇	岡本太郎	1986		1000073		
双子座	岡本太郎	1974		1000075		
手の顔	岡本太郎	1978		1000088		
遭遇	岡本太郎	1981		1000104		
愛憎	岡本太郎	1983		1000108		
想い	岡本太郎	1988		1000119		
マスク	岡本太郎	1985		1000117		
回帰	岡本太郎	1961		1000126		

## 貸出作品及び資料

本年度貸出作品：7 件, 199 点

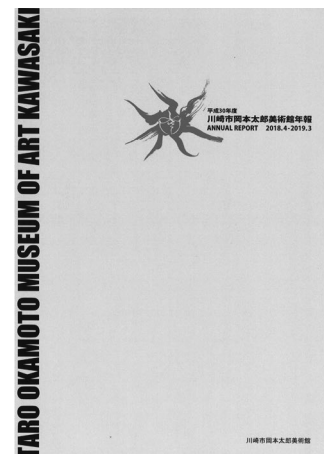
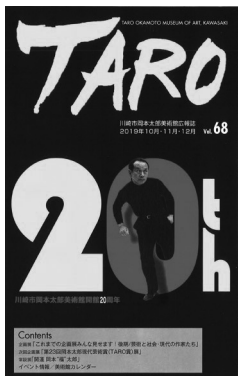
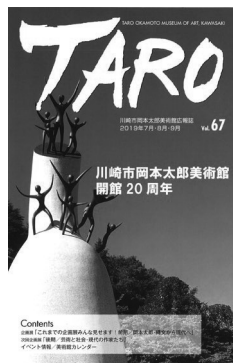
作品名	作家名	制作年	分類	展覧会名／会期・会場
まひるの顔	岡本太郎	1948	油彩	「キュビズムと高橋節郎 そして、高みへ」展 2019.7.13-9.16 安曇野高橋節郎記念美術館
変身	岡本太郎	1953	油彩	
顔面把手（東京国立博物館／山梨県出土）	岡本太郎	1956 (撮影)	写真	「いのち～絵画と原始造形の美」展 2019.9.1-12.1 葦崎大村美術館
エクセホモ	岡本太郎	1963	油彩	「描く、そして現れる 一画家が彫刻を作るとき」展 2019.9.14-12.8 DIC 川村記念美術館
愛	岡本太郎	1961	彫刻	
縄文土器（東大人類学教室/富山県出土）	岡本太郎	1956 (撮影)	写真	「日本建築の自画像 探究者たちのもの語り」展 2019.9.21-12.15 香川県立ミュージアム
縄文土器（東大人類学教室）	岡本太郎	1956 (撮影)	写真	
樹人	岡本太郎	1951	油彩	群馬県立歴史博物館 開館 40 周年記念 第 100 回企画展 「ハート形土偶大集合!! —縄文のかたち・美、そして岡本太郎」展 2019.9.28-12.1 群馬県立歴史博物館
リョウラン	岡本太郎	1963	油彩	
太陽の塔	岡本太郎	1970	彫刻	
月の顔	岡本太郎	1981	彫刻	
踊り	岡本太郎	1982	彫刻	
顔	岡本太郎	1952	彫刻	

手作りカメラ	北代省三	制作年 不詳	カメラ	「北代省三—大型カメラの世界」展 2019.11.11-11.29 東京パブリッシングハウス/横田茂ギャラリー
ピンホールカメラ	北代省三	制作年 不詳	カメラ	
明日の神話	岡本太郎	1968	油彩	「岡本太郎」展 2019.12.26-2020.1.24 大分県立美術館
森の掟	岡本太郎	1950	油彩	
作家	岡本太郎	1948	油彩	
クリマ	岡本太郎	1951	油彩	
海辺	岡本太郎	1954	油彩	
ドラマ	岡本太郎	1958	油彩	
装える戦士	岡本太郎	1962	油彩	
面	岡本太郎	1975	油彩	
海辺の肖像	岡本太郎	1973	油彩	
記念撮影	岡本太郎	1975	油彩	
太陽の塔	岡本太郎	1970	彫刻	
こどもの樹	岡本太郎	1985	彫刻	
午後の日	岡本太郎	1967	彫刻	
手の椅子	岡本太郎	1967	彫刻	
坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1963	彫刻	
岡本太郎撮影写真 169点	岡本太郎		写真	

## 5. 情報・刊行物

### 刊行物

刊行物名	サイズ	内容	発行部数
川崎市岡本太郎美術館ニュース 「TARO」 MUSEUM NEWS Vol.66～69	21×13.5 (cm) 三つ折	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展案内</li> <li>・常設展案内</li> <li>・イベント報告</li> <li>・美術館カレンダー</li> <li>・美術館利用案内</li> </ul>	20,000 部 (各 5,000 部発行)
平成 30 年度 川崎市岡本太郎美術館年報  当館ホームページにて、PDF 版の閲覧が可能 <a href="http://www.taromuseum.jp/aboutmuseum/report.html">http://www.taromuseum.jp/aboutmuseum/report.html</a>	A4 版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告（企画展、常設展、共催・協力企画展、収集・保存・貸出、情報・刊行物、教育・普及事業、美術館協議会、資料収集・評価委員会）</li> <li>・資料（入館者数統計、美術館事業予算・決算概要）</li> <li>・組織名簿</li> <li>・美術館概要</li> <li>・美術館条例・規則</li> </ul>	300 部



平成 30 年度  
川崎市岡本太郎美術館年報

美術館ニュース「TARO」 Vol.66～69

## 6. 教育・普及事業

### ■ イベント・ワークショップ ■

#### <TARO 鯉にいどむ！ inラゾーナ川崎プラザ>

ワークショップ日程 2019年4月7日（日）13:00～15:30

作品展示日程 2019年5月1日（水）～5月6日（月祝）

内 容 恒例となった「TARO 鯉にいどむ！」を川崎駅に隣接しているラゾーナ川崎プラザのイベント会場で、出張ワークショップとして開催しました。事前申込の参加者に、岡本太郎の鯉のぼりへの思いを伝え、思い思いに制作を楽しんでもらいました。また、美術館の案内掲示を行うことで、来場者に岡本太郎美術館について知ってもらえる機会になりました。

場 所 ラゾーナ川崎プラザ イベントスペース

料 金 無料

参加人数 120名



#### <TARO 鯉にいどむ！ 2019>

ワークショップ日程 2019年①4月21日（日）、②28日（日）、③29日（月祝） 13:00～15:30

作品展示日程 2019年5月1日（水）～5月6日（月祝）

内 容 今年で7回目になるこのイベントを、毎年の恒例行事としてご家族で参加される方、屋外の展示を見て参加したいと思っていた方など、多くの方に楽しんでいただきました。今年度は20周年特別企画として、170cmの特大サイズ鯉のぼりの制作も行いました。TARO 賞作家、メキシコ作家による30匹の鯉もギャラリースペースに展示したほか、これまでのワークショップで制作した、200匹以上の鯉のぼりが母の塔広場で泳ぎました。

場 所 創作アトリエ、常設展示室、ギャラリースペース、母の塔前広場

料 金 無料（要観覧料）

参加人数 ① 29名 ② 21名 ③ 37名

協力作家 秋山佳奈子 白木英之 滝川真紀子 竹内カズノリ 服部正志  
檜皮一彦 藤原史江 宮内裕賢 宮田彩加 吉田絢乃



#### <こどもの樹をつくろう！>

ワークショップ日程 2019年5月3日（金）～5日（日） 10:00～16:00

作品展示日程 2019年5月3日（金）～5月31日（金）

内 容 《こどもの樹》には、個性豊かな顔が並びます。昨年に引き続き、《こどもの樹》の顔で作った塗り絵と丸い白紙を用意し、みんなで自由に顔を描いて《こどもの樹》を作りました。大型連休中の小さい子ども連れのご家族や大人の方にも楽しんでいただきました。多くの方にご参加いただき、美術館を賑わせるイベントとなりました。

場 所 ギャラリースペース

料 金 無料

参加人数 5/3：277名 5/4：214名 5/5：222名 合計713名



### <はいはい&よちよち美術館ツアー>

日 時 2019年①4月10日(水) ②5月15日(水) ③6月12日(水) 10:30~11:30

内 容 親子で一緒に鑑賞を楽しみ、お子さんの反応を確かめながら作品をみてもらったり、鑑賞をつうじての親子のコミュニケーションを図ったりするなど小さな子でも無理なく美術館の雰囲気を味わえる鑑賞会を行いました。抱っこで回るグループ、歩きながら回るグループとに分かれて行いました。

場 所 ガイダンスホール、常設展示室

対 象 3か月~3才の幼児とご家族 先着10組

講 師 普及企画

料 金 要観覧料

参加人数 ①11名 ②19名 ③20名 事前電話受付



### <祝!! 20周年 出張展示川崎市岡本太郎美術館>

日 時 ①中原図書館 2019年5月18日(土)~6月1日(土)

岡本太郎美術館 20周年記念ミニ講演: 5月26日(日) 14:00~14:45

②高津市民館 2019年6月21日(金)~7月3日(水)

内 容 川崎市岡本太郎美術館は、川崎市ゆかりのアーティストの個人美術館として市民に親しまれ、開館から現在まで70を超える展覧会を開催してきました。美術館20周年記念出張展示として、川崎市内の施設でこれまでの企画展ポスターや作品パネル、図録などを展示し、より多くの方に美術館の活動と岡本太郎について知っていただく機会となりました。展示期間中に学芸員による岡本太郎美術館20周年記念ミニ講演「岡本かの子と太郎『生々流転』と多摩川~岡本かの子生誕130年~」を開催し、定員を超える応募がありました。

場 所 ①中原図書館: 6階多目的室 ②高津市民館: 11階ウォール展示

料 金 無料



### <キッズ写真展 —テーマ“なんだ?これは!!”—>

日 時 募集期間: 2019年4月27日(土)~5月26日(日)

展示: 2019年6月8日(土)~6月30日(日)

内 容 「岡本太郎と日本の伝統」展にあわせ、子どもが撮影した写真による「キッズ写真展」を開催いたしました。0歳~12歳のお子さんからの応募があり、大人と異なる子どもの視点やユニークな写真タイトルを楽しむ展示となりました。

場 所 ギャラリースペース

応募総数 33点





### <中学生「夏休みの宿題手伝います」ツアー>

日 時 2019年①7月25日(木) ②7月26日(金) ③8月21日(水) ④8月22日(木) 10:00~11:00

内 容 今年で3年目となる中学生向けの美術館見学ツアー。夏休みの課題として美術館に行って感想を書いたり、新聞を作ったりする中学生にむけて、美術館スタッフによるツアーを行うようになりました。今年度は、作品だけでなく美術館の役割にも興味・関心が向くようなワークシートを作成しました。友達や家族と一緒に対話をしながら鑑賞する姿、一人で真剣に作品を見ている姿などが見られました。

場 所 常設展示室、企画展示室

講 師 普及企画

料 金 無料

参加人数 ①23名 ②20名 ③23名 ④9名 当日申込



### <じゅえき太郎とゆるふわ昆虫戯画>

日 時 2019年8月11日(日) 13:30~15:30

内 容 TARO 賞入選作家「じゅえき太郎」といっしょに、世界ひとつだけのオリジナルムシキャラを制作するイベントです。今回はタブレットを活用して、ムシキャラのデザインや色付けを行いました。人気作家のじゅえき太郎さんに会うために初めて来館された参加者もみられました。イベント終了後、参加者の描いたムシキャラが登場する“ゆるふわ昆虫戯画”が、じゅえき太郎さんによって制作され、ギャラリースペースや美術館 HP などで発表されました。この発表方法は、今までにない新しい試みでした。

場 所 企画展示室、創作アトリエ、ギャラリースペース

対 象 小学3年生~中学生

講 師 じゅえき太郎

料 金 500円+観覧料

参加人数 45名 事前電話受付

ギャラリー展示期間 8月24日(土)~9月29日(日)



### <テキスタイルで遊ぼう！>

日 時 2019年8月15日(木) ①10:30~12:00 ②14:00~15:30

内 容 かつて岡本太郎やアーティストが集い、軍手やホウキ、キャベツや大根などの日用品や野菜を使って、テキスタイルのデザインを行ったことがありました。野菜や日用品で、自由にいたずらっ子的に無邪気に制作されたテキスタイルは、遊び心と楽しさがあふれるデザイン。太郎さんと同じようにのびのびした遊び心で、自由にデザインを楽しみました。

場 所 常設展示室、創作アトリエ

対 象 小学生以上

料 金 500円+観覧料

参加人数 ①14名 ②19名 事前電話受付



### <サマーミュージアム『TARO 缶バッジをつくろう』>

日 時 2019 年 8 月 18 日（日） ①11:00～ ②14:00～  
内 容 岡本太郎美術館ではサマーミュージアムイベントとして、100 名限定のオリジナル TARO 缶バッジをつくりました。《こどもの樹》《坐ることを拒否する椅子》の塗り絵に、自由に色を塗れるオリジナルの缶バッジづくりは、家族連れを中心に賑やかなイベントとなりました。  
場 所 企画展示室  
対 象 どなたでも  
料 金 100 円  
参加人数 183 名（先着順/整理券配布）



### <プレミアム TARO ナイト>

日 時 2019 年 8 月 30 日（金） 17:00～20:00  
内 容 今年で 3 回目となったプレミアム TARO ナイトは、美術館 20 周年のスペシャルウィーク企画として音楽ライブを 2 部構成で行う豪華なものとなりました。チベットの三味線や沖縄島唄などアジアテイストあふれるサマーライブ、美術館の夜間開館、母の塔のライトアップ、母の塔前広場における BARTARO を臨時開店などを多くの方に楽しんでいただきました。常設展示室では、イベント“美術館 20 周年記念展で謎解き”を開催しました。  
場 所 母の塔広場、常設展示室、企画展示室  
対 象 どなたでも  
演 奏 Toshi Kuga(チベットの三味線)、流間蛙(ギター)、えぐさゆうこ(三味線・歌)、熊坂路得子(アコーディオン)、布井あやみ(タヒチダンス)  
料 金 無料 入館者は要観覧料（2 割引）  
入館者数 139 名（17:00 以降入館者）  
展示室イベント参加者 152 名  
ライブ観覧者 427 名



### <ナイトミュージアム>

日 時 2019 年 9 月 7 日（土） 17:00～20:00  
内 容 学芸員のギャラリートツアーと普段見ることの出来ないバックヤードの一部を公開する大人限定のイベント。常設展をガイドツアー形式で観覧後、バックヤードを見学しました。その後、各々で展示をご覧いただき、カフェやショップでは自由にゆったりとした時間を過ごしていただきました。  
場 所 企画展示室、バックヤード、収蔵庫  
対 象 20 歳以上  
講 師 学芸  
料 金 2000 円（入館料、ワンドリンク、ミュージアムショップ 500 円券 付き）  
参加人数 18 名 事前電話受付



### < “私の《太陽の塔》” をかいて、つくって、おめでとう！ >

日 時 2019年①9月28日（土） ②29日（日） 13:00～15:30  
内 容 太郎さんはどのような気持ちで作品を生み出したのか。そのことに思いを巡らせながら展示を鑑賞し、“私の《太陽の塔》”を絵画や立体で制作しました。実際の展示作品を前にスケッチする時間では、作品と真剣に向き合う様子が、他の観覧者にも好感をもたれていました。制作した作品は、キッズ TARO 展の募集作品と一緒に展示しました。

場 所 企画展示室、創作アトリエ、ギャラリースペース  
対 象 中学生以下  
参加者数 ①14名 ②42名  
料 金 300円＋観覧料



### < 第9回キッズ TARO 展—テーマ「〇〇の美術館」— >

募集期間 2019年9月15日（日）～10月14日（月祝）  
展示期間 2019年10月26日（土）～11月24日（日）  
内 容 自由な発想で、独創的な作品を作り続けた岡本太郎。その精神を受け継ぎ、子どもの無邪気で自由な表現の場として、9回目となるキッズ TARO 展を開催しました。今年のテーマ「〇〇の美術館」のもと、幅広い作品が集まりました。

場 所 ギャラリースペース  
対 象 中学生以下  
応募者数 40名



### < 太郎さんと音あそび >

日 時 2019年10月30日（水） 10:30～11:30  
内 容 はいはい&よちよち美術館ツアーの特別版として、迎えたゲスト講師による、音遊びの活動を盛り込んだイベントです。展示室では、小さな子どもたちに作品を見せながら様々な音を鳴らさせたり、手軽な道具を使って身体表現をさせたりしました。親子で楽しくコミュニケーションを図ってもらうことができ、和やかな雰囲気のイベントとなりました。

場 所 ガイダンスホール～常設展示室  
対 象 1～2才の幼児とご家族  
講 師 寒川晶子（ピアニスト）  
料 金 無料（要観覧料）  
参加人数 11組（22名） 事前電話受付



## 専修大学インターンシップ学生企画 <顔は宇宙だ キャンバスだ>

日 時 2019年11月17日(日) ①10:00～11:30 ②13:30～15:00

内 容 どんな生き物でももっている「顔」を岡本太郎はどのように表現したのか、という視点を参加者と共有しながら常設展の作品を解説したり、参加者がいろいろな表情の「顔」を自由に制作できるように作品の見本やパーツを十分に用意するなど、学生の創意工夫随所に見られたワークショップでした。また、参加者にとって、学生による常設展鑑賞ツアーがとても親しみやすく、よい雰囲気での鑑賞することができたほか、制作中も学生から声をかけてもらうことによって、活発に作品作りを進めることができました。みんなが「笑顔」になる賑やかで楽しいイベントとなりました。



場 所 常設展示室、創作アトリエ

料 金 無料（要観覧料）

参加人数 ①15名（子ども5名/大人10名） ②11名（子ども6名/大人5名）

## <はいはい&よちよち美術館ツアー>

日 時 ①2019年9月12日(水)②11月14日(水) 10:30～11:30

内 容 親子で一緒に鑑賞を楽しみ、お子さんの反応を確かめながら作品をみてもらったり、鑑賞をつうじての親子のコミュニケーションを図ったりするなど小さな子どもでも無理なく美術館の雰囲気を味わえる鑑賞会を行いました。抱っこで回るグループ、歩きながら回るグループとに分かれて行いました。



場 所 ガイダンスホール～常設展示室

対 象 3か月～3才の幼児とご家族

講 師 普及企画

料 金 要観覧料

参加人数 ①7組(14名) ②8組(17名) 事前電話受付

## <光るちょうこくをつくろう！>

日 時 2019年12月1日(日) 13:30～15:00

内 容 岡本太郎は、《光る彫刻》《若い時計台》など、光を造形素材として取り込んだ作品を制作しています。本ワークショップでは“光”をひとつの素材として使い、他の材料と組み合わせて“光るちょうこく”を制作しました。ペットボトルなどに紙粘土を貼り付け、中にLEDライトを入れ灯し光によるオブジェができあがりました。

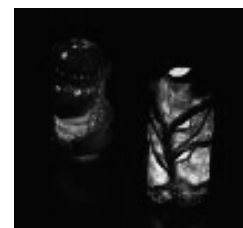


場 所 創作アトリエ、企画展示室、ガイダンスホール

対 象 小学生～どなたでも

料 金 500円+要観覧料

参加人数 36名 事前電話受付



### <未知なる現象を探ろう！「実験工房」佐藤慶次郎の世界>

日 時 2019年12月14日（土） 13:00～15:30

内 容 佐藤慶次郎は「実験工房」の作家です。岡本太郎も大いにバックアップしました。本ワークショップは、作品を鑑賞した後に、作家が実際に使用していた道具等を用いた動くオブジェの制作。展示を行うことで、佐藤慶次郎が没頭していた世界に迫るものです。同じ動きをもつ作品を作ることは不可能なこともあり、自分だけが発見した動きや形を全面に押し出した作品が完成しました。

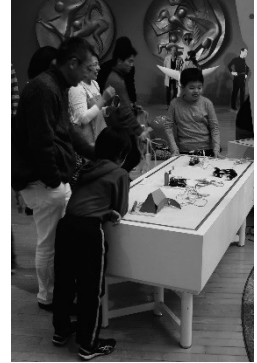
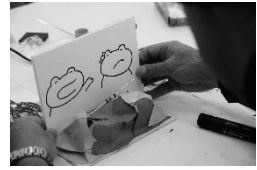
講 師 石川喜一

場 所 創作アトリエ、企画展示室、ガイダンスホール、ギャラリー（約1週間展示）

対 象 小学生高学年以上

料 金 500円+要観覧料

参加人数 8名 事前電話受付



### <「字は絵だろ」書で遊ぶ>

日 時 2020年1月12日（日） 13:00～15:30

パフォーマンス：13:00～13:45 ワークショップ：14:00～15:30

内 容 無心に字を書いていると自然に絵になってしまったという岡本太郎。現代書家である浅田聖子氏のパフォーマンス(六龍の中の「翔龍」)の後、自分自身が描きたい文字を思い思いの表現方法で表したり、色紙や今年のカレンダーなどに字を書いたり色をつけたりしました。

講 師 浅田聖子(書家)

場 所 創作アトリエ、ガイダンスホール、常設展示室

対 象 小学生以上

料 金 300円+要観覧料

参加人数 パフォーマンス：108名

ワークショップ：22名（事前電話受付）



### <文化財ポスター展>

展示期間 2020年1月29日（水）～2月9日（日）

内 容 神奈川県教育委員会で行われる「文化財保護ポスター展」の作品から、川崎市内の中学生による作品を美術館のギャラリースペースに展示しました。

場 所 ギャラリースペース

展示点数 17点



### <大人のための TARO アトリエ>

- 日 時 2020年2月16日(日) 10:00~12:30
- 内 容 岡本太郎の制作背景を踏まえながら、作品についての鑑賞ツアーをした後、常設展示室内で気に入った岡本太郎作品のスケッチをしました。展示室内では鉛筆のみの使用が認められていますが、今回は特別に、色鉛筆などの色材の使用を可とし、太郎ワールド広がる展示室で作品と自分の絵とをじっくり向き合う時間となりました。
- 場 所 常設展示室、創作アトリエ
- 料 金 無料（要観覧料）
- 対 象 20歳以上
- 参加人数 8名



### <はいはい&よちよち美術館ツアー>

- 日 時 ①2020年2月19日(水) ②3月11日(水) 一中止 10:30~11:30
- 内 容 親子と一緒に鑑賞を楽しみ、お子さんの反応を確かめながらお子さんの様子を通して作品をみてもらったり作品を介しての親子のコミュニケーションを図ったり小さな子に無理なく美術館の雰囲気を味わってもらったりする鑑賞会を行いました。前回の振り返りからより充実させるために電話受付により10組を対象として行いました。
- 場 所 ガイダンスホール~常設展示室
- 対 象 3か月~3才の幼児とご家族 先着10組
- 講 師 普及企画
- 料 金 無料（保護者のみ要観覧料）
- 参加人数 ①8組(16名) ②中止 事前電話受付



### <Taro バースデーコンサート~親と子のハートフルコンサート~>

- 日 時 2020年2月24日(月・振休) 14:00~15:00
- 内 容 岡本太郎は1911年02月26日生まれ。109歳のバースデーを祝って、コンサートを開催しました。今年は、藤原歌劇団の団員を招き、たくさんのお客様に楽しんでいただけるよう、王道オペラからアニメソングまで幅広い楽曲とMCで盛り上がりました。アンコールには岡本太郎の名言「芸術は爆発だ!」と世界初のCMソング(火山鉄道) <フニクリフニクラ>をかけて華やかな終幕となりました。
- 場 所 美術館ギャラリースペース
- 出 演 楠野麻衣(ソプラノ)、市川有一郎(バリトン)、瀧田亮子(ピアノ) / (藤原歌劇団)
- 対 象 どなたでも(当日先着順)
- 料 金 無料(椅子席70席は要観覧券・先着順)
- 参加人数 約150名
- 協 力 昭和音楽大学/株式会社プレルーディオ



### <岡本太郎美術館祝 20 周年メッセージプロジェクト>

内 容 開館 20 周年をお祝いして、来館者に書いていただいたメッセージをポストに投函していただき、掲示。ファイルしていきました。多くの方々から美術館での思い出、岡本太郎への思いなどをお寄せいただきました。

日 時 2019 年 7 月 13 日（土）～2020 年 1 月 13 日（月・祝）

場 所 ギャラリースペース

参加人数 2,178 名



## ■団体利用実績■

学校や教育機関による団体での鑑賞学習や、美術館を利用したグループ学習については、利用する教育機関側と美術館職員が事前に打ち合わせを行い、対象年齢や学習目的に応じた鑑賞プログラムを作成しています。

### R1(H31) 学校等受入数

月	小学校		中学校		高校・大学		特別支援学校等		幼稚園・保育園		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	1	197	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13	2	210
5	4	371	3	195	0	0	0	0	0	0	0	0	7	566
6	3	152	4	69	3	125	4	44	1	41	0	0	15	431
7	2	181	3	47	1	14	1	13	0	0	1	22	8	277
8	0	0	8	54	6	33	2	37	0	0	1	20	17	144
9	5	630	3	13	1	45	0	0	0	0	0	0	9	688
10	8	997	1	9	0	0	0	0	1	40	2	36	12	1082
11	9	1045	3	16	5	111	2	36	2	52	1	25	22	1285
12	6	652	2	26	4	253	1	27	0	0	1	15	14	973
1	10	1081	4	16	0	0	1	17	0	0	1	11	16	1125
2	3	238	0	0	1	29	0	0	0	0	1	15	5	282
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	51	5544	31	445	21	610	11	174	4	133	9	157	127	7063

## ■学校プログラム■

### <職場体験・インターンシッププログラム>

内 容 体験を通して美術館で働く人達と接し、施設の目的や内容を広く学んでもらうための活動。学芸員の仕事、施設管理の仕事、ミュージアムショップの仕事、監視・受付の仕事の中から日程に合わせて選択し、各1時間程度体験します。

今年度受入校数 18校



### <出張授業>

内 容 美術館から遠い、校外活動は時間がかかる等、様々な理由で来館できない学校を主な対象として、出張授業を行っています。美術館職員が学校を訪問し、教材を持ち込んで鑑賞活動を進めます。

今年度受入校数 9校



## ■教材開発と利用■

### <映像資料>

#### 「岡本太郎の芸術」

時 間 20分

内 容 岡本太郎の生い立ち、絵画、彫刻、デザイン、著作、フィールドワークなど様々な活動の記録を分かりやすく解説  
\*テロップ入りの聴覚障害者向けビデオあり（内容は同じ）



#### 「マナーDVD」

内 容 小学生以下の子ども向けにつくった美術館でのマナーを簡単にまとめたもの。



### <作品プリント>

#### 「代表作品」



【パウチ加工 36 作品 42.5×30.0】

内容

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》他 全 14 作品

立体作品：《誇り》《若い時計台》《太陽の塔》他 全 19 作品

レリーフ：《天に舞う》全 1 作品

写 真：《縄文土器》他 全 2 作品

\*個々の作品についての解説書付き

#### 「遊ぶ字」



【パウチ加工 40 作品 42.5×30.0】

内容

《夢》《遊》《笑》《楽》《晴》《歌》

《喜》《音》《若》《海》他 全 40 作品

### <大型作品プリント>



内容：《傷ましき腕》《重工業》《森の掟》《夜》《空間》全 5 作品

### <作品カード（アートカード）>

美術館見学の事前授業で使用するなど、年間 70 件近くの利用があり前回のリニューアルより 5 年経過したため、破損や衛生面を考慮し、使用者が気持ちよく使えるようにケースを新しくしました。



【パウチ加工 24 作品 12.0×18.0】

#### 内容

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》他 全 7 作品

立体作品：《誇り》《若い時計台》《太陽の塔》他 全 10 作品

版 画：《眼》《夢》全 2 作品レリーフ：《マスク》全 1 作品

インダストリアル：《顔のグラス》他 全 3 作品

### <子ども向け自由鑑賞ワークシート>

学校団体向けの鑑賞コースに 30 年度よりワークシートを活用したコースを加え、目的に合わせた各種ワークシートを展示内容に合わせて普及企画スタッフで作成しています。美術館での学習だけでなく、学校授業でも使用していただけます。

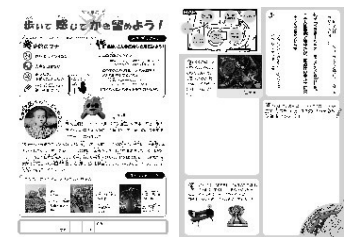
#### ・“遊ぶ！”ガイドマップ

主な作品のカラー画像があります



#### ・歩いて 感じて 書き留めマップ

鑑賞のきっかけになる質問やメモスペースが多くある内容。各展覧会に合わせた内容。



#### ・トークインワークシート

4～6 名の班に分かれて鑑賞する内容。ちょっと変わったキーワードがワークシートにあり、それをきっかけに子ども同士が対話をしながら鑑賞します。各展覧会に合わせた内容。



## ■美術館教育研究会■

日 時 2020年2月26日(水) 15:00～16:30

場 所 岡本太郎美術館 創作アトリエ

議 題 (1) 令和元年度の普及事業報告

- 学校対応事業
  - 学校・地域連携事業
  - イベント・ワークショップ事業
- (2) 令和2年度の教育普及事業予定

- 学校団体利用について
  - ・学校団体鑑賞プログラムの内容
  - ・鑑賞ワークシート作成

- 展覧会、イベント予定

(3) その他

出席者

小・中学校：岩崎知美（総合教育センター指導主事）、登尾日出男（京町中学校校長）、北潟美波（柘形中学校教諭）、柳原麻子（中野島中学校教諭）、本田 隆（稲田中学校教諭）、鈴木貴久（新城小学校教諭）、渋谷典子（菅生小学校）、草薨寛子（新作小学校）、原美由紀（四谷小学校）

美術館：北條秀衛（岡本太郎美術館館長）、古内 久（岡本太郎美術館副館長）、佐藤玲子（普及企画担当係長）、那須川慧（普及企画職員）、橋本文恵、千村曜子、木村かろう（普及企画非常勤職員）

## 7. 指定管理者による自主事業

### ■ イベント・ワークショップ ■

#### <専修大学 EmoHill 春の桜ライブ>

日 時	2019年4月14日（日）12:40～13:20
内 容	専修大学アカペラサークルとのコラボで、カフェ屋外で音楽を楽しんでもらうミニライブの第2回目。企画展最終日に充てて春にちなんだ4曲を披露しました。肌寒い気温ながらたくさんの方にアカペラを楽しんで頂き、シャボン玉パフォーマーの参加で大変盛り上がりしました。
場 所	カフェテリア TARO 前屋外
出 演	専修大学アカペラサークル「EmoHill」
料 金	無料
参加人数	142名



#### <専修大学 EmoHill 新元号ファーストデイ・ライブ>

日 時	2019年5月1日（水祝）①11:45～12:15 ②12:30～13:00
内 容	桜の時期に続きゴールデンウィークにあてて専修大学アカペラサークルのコラボライブを開催しました。明治大学のアカペラサークルにも声を掛け2部構成6曲を披露しました。認知が上がり、毎回聴きにきて下さるという方もありました。
場 所	カフェテリア TARO 前屋外
出 演	専修大学アカペラサークル「EmoHill」
料 金	無料
参加人数	160名



#### <美術館でフラワーレッスン vol.3 「母の日のBOXアレンジ」>

日 時	2019年5月6日（月祝）①10:30～12:30 ②14:30～16:30
内 容	指定管理者日比谷花壇の特性を活かしたフラワーアレンジ教室の3回目を母の日のテーマで同日に2回、開催しました。親子で母の日の作品を作ったりご自身で作ったり、それぞれに楽しく春の行事にちなんだフラワーアートを楽しんで頂きました。ギフトパック付きでそのままプレゼントになる形も好評でした。
場 所	創作アトリエ、常設展示室、企画展示室
対 象	どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
講 師	大津聖子（日比谷花壇）
料 金	1,800円（別途観覧料）
参加人数	①24名（うち同伴4名）②16名（うち同伴2名） 事前電話受付



### <かわいいコケ玉をつくろう！>

- 日 時 2019年6月16日（日）①10:30～11:30 ②14:00～15:00
- 内 容 日本の伝統的な盆栽の一形態であるコケ玉を、育てやすい観葉植物で植え込み、目玉オーナメントをつけ顔にした現代風コケ玉の教室を開催しました。育て方も丁寧に説明し、陶皿もつけました。泥コネ作業では同伴のご両親も童心に帰り、大変盛り上がりました。
- 場 所 創作アトリエ
- 対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
- 講 師 小山裕行（日比谷花壇）
- 料 金 1,300円
- 参加人数 ①26名（うち同伴6名） ②23名（うち同伴5名） 事前電話受付



### <美術館でフラワーレッスン Vol.4「夏のハーバリウムデュフューザー」>

- 日 時 2019年7月27日（土）①10:30～12:00 ②14:00～15:30
- 内 容 フラワーレッスンの定着を狙い四季のメニューの夏版として、香りも楽しめるハーバリウムを制作しました。告知時期に工事休館が重なったため参加者は少なかったですが、参加の方には今回も大変好評を頂きました。
- 場 所 創作アトリエ、常設展示室
- 対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
- 講 師 重田章子（日比谷花壇認定講師）
- 料 金 1,800円（別途観覧料）
- 参加人数 ①7名（うち同伴2名） ②8名（うち同伴3名） 事前電話受付



### <美術館 de パラ・マルシェ>

- 日 時 2019年8月18日（日）10:00～14:00
- 内 容 美術館20周年記念行事の一環として、学芸と協働で生田緑地サマーミュージアムの当日に障害福祉施設の工芸品バザーを展開しました。施設の夏休みと重なり3団体の参加でしたが、暑さでサマーミュージアムへの出店ができない施設の方が冷房の効いた環境で出店でき、入所者の方に社会接点が増えたことを大変喜んで頂きました。
- 場 所 エントランスホール



### <パークウェディング>

- 日 時 2019年9月16日（月祝）挙式 15:05、披露宴 16:10～19:30
- 内 容 生田緑地ビジターセンター主導のパークウェディング企画に美術館の20周年記念を絡め母の塔周辺での挙式、控室貸与等の協力を行いました。多摩区の美術館を使った婚活イベント参加者の結婚式ということで学芸課長にも祝辞のご協力を頂き、新郎新婦にも大変思い出深い挙式となりました。メタセコイア林でのパーティーも非常にロケーションが良く大好評でした。
- 場 所 母の塔周辺（挙式）
- 対 象 新郎新婦、関係者のみ
- 参加人数 196名（式関係者にフラワーシャワー一般参加含む）



### <美術館でフラワーレッスン Vol.5「モダン・ハロウィン」>

- 日 時 2019年10月5日（土）13:30～15:00
- 内 容 美術館のある緑地西口周辺の賑い醸成の余地として注目している「ハロウィン」をテーマにフラワーアレンジ教室を開催。大人向けのデザインで企画しましたが、お子様の参加も大変多く、思い思いのデザインでハロウィンの作品作りを楽しんで頂きました。
- 場 所 創作アトリエ、常設展示室
- 対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
- 講 師 重田章子（日比谷花壇認定講師）
- 料 金 1,800円
- 参加人数 27名（うち同伴10名） 事前電話受付



### <専修大学 EmoHill 岡本太郎美術館 20周年お祝いライブ>

- 日 時 2019年10月26日（土）12:40～13:10
- 内 容 美術館の20周年記念後期展初日に充て、専修大学アカペラサークルのミニライブを開催しました。毎回楽しみにされている方も出始め、美術館のお祝いムードを歌で盛り上げました。当日は全職員がハロウィンのプチ仮装で業務を行い、出演者も仮装して秋の日を楽しく演出しました。
- 場 所 カフェテリア TARO 前屋外
- 出 演 専修大学アカペラサークル「EmoHill」
- 料 金 無料
- 参加人数 78名



### <美術館でフラワーレッスン Vol.6「クリスマスキャンドルアレンジ」>

日 時 2019年11月23日（土・祝）13:30～15:00  
内 容 冬の美術館閑散期に充てて、フラワーアレンジ教室としては欠かせないクリスマス为主题に開催しました。リピーターの方の希望により前回の教室時に先行受付を行い、今回も和気あいあいと初めて参加の方も巻き込んで楽しくキャンドルアレンジを制作しました。  
場 所 創作アトリエ、常設展示室  
対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）  
講 師 重田章子（日比谷花壇認定講師）  
料 金 1,800円  
参加人数 22名（うち同伴7名） 事前電話受付



### <専修大学 EmoHill クリスマスライブ>

日 時 2019年12月22日（日）12:40～13:10  
内 容 12月の寒い時期に来館いただくお客様に楽しんで頂きたい、クリスマス为主题にしたアカペラライブを開催しました。当日は後半雨もばらつきましたが、雰囲気の良い選曲で多くの方が足を止め演奏を楽しんでいました。  
場 所 カフェテリア TARO 前屋外  
出 演 専修大学アカペラサークル「EmoHill」  
料 金 無料  
参加人数 40名



### <TARO 凧をつくろう！>

日 時 2020年1月19日（日）①10:30～12:00 ②13:30～15:00  
内 容 昨年の好評を受け2度目の凧作り教室を開催しました。人出が多い日曜に日取りを変えたところ逆に参加者が減ってしまいましたが、昨年参加のリピーターの方もおり、今回は実際に飛ばして調整する時間も取れ、自作の凧飛ばしに大変楽しそうでした。  
場 所 創作アトリエ、常設展示室  
対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）  
講 師 小山裕行（日比谷花壇）  
料 金 500円  
参加人数 ①22名（うち同伴12名）②20名（うち同伴12名） 事前電話受付



※2月29日（土）開催予定の「美術館でフラワーレッスン Vol.7 春のアレンジメント」、3月28日（土）開催予定の「専修大学 EmoHill スプリングライブ」は新型コロナウイルス感染拡大を受け開催中止としました。

川崎市岡本太郎美術館は、2018年4月より(株)日比谷花壇、(株)日比谷アメニス、東急ファシリティサービス(株)の3社構成による「生田緑地 日比谷花壇・日比谷アメニス・東急ファシリティサービス共同事業体」が指定管理者業務を行っています。



## 8.川崎市文化芸術振興会議施設部会

### 川崎市文化芸術振興会議施設部会

#### 第1回

日 時：2019年9月18日（水）14:00～16:00

場 所：岡本太郎美術館・創作アトリエ

出席委員：

部会長 勅使河原純（美術評論家）  
委員 藤嶋俊會（美術評論家）  
室井絵里（インディペンデントキュレーター）

議 事：

(1)令和元年度事業経過・予定について

ア 展覧会事業

・企画展

「岡本太郎と日本の伝統」展

川崎市岡本太郎美術館20周年記念展「これまでの展覧会みんな見せます！・前期」展

川崎市岡本太郎美術館20周年記念展「これまでの展覧会みんな見せます！・後期」展

「第23回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」展

・常設展

イ 資料収集・整理、調査研究

ウ 作品の保存・修復、貸出

エ 普及企画

オ 広報活動

カ 施設・設備の整備

キ その他：予算・決算、統計データ等について

(2)令和2年度事業経過及び予定について

#### 第2回

日 時：2020年3月18日（水）14:00～16:30

場 所：岡本太郎美術館・創作アトリエ

出席委員：

部会長 勅使河原純（美術評論家）  
委員 杉浦幸子（武蔵野美術大学芸術文化学科教授）  
藤嶋俊會（美術評論家）  
室井絵里（インディペンデントキュレーター）  
光田由里（DIC川村記念美術館学芸課長）

議 事：

(1)令和2年度事業報告について

ア 展覧会事業

・企画展

「岡本太郎と日本の伝統」展

川崎市岡本太郎美術館 20周年記念展「これまでの展覧会みんな見せます！・前期」展

川崎市岡本太郎美術館 20周年記念展「これまでの展覧会みんな見せます！・後期」展

「第23回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」展

・常設展

イ 資料収集・整理、調査研究

ウ 作品の保存・修復、貸出

エ 普及企画

オ 広報活動

カ 施設・設備の整備

キ その他：予算・決算、統計データ等について

(2) 令和2年度事業予定について

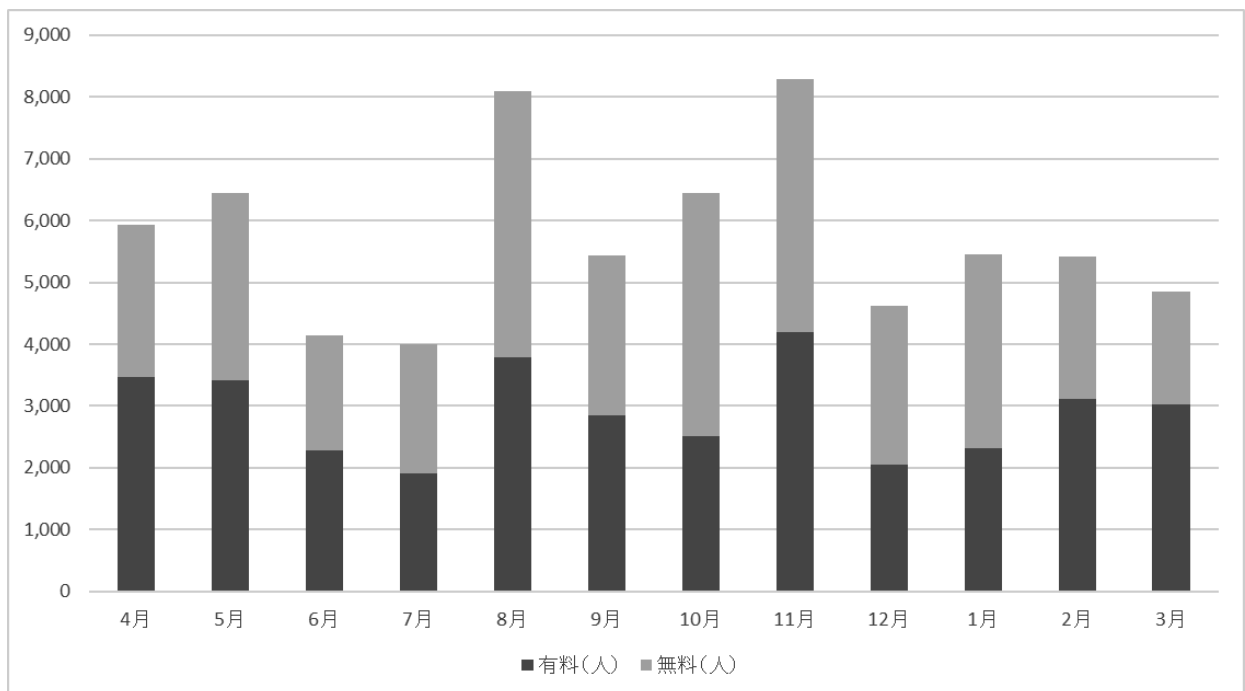
(3) 事業評価について

## Ⅱ. 資料

### 1. 入館者数統計

#### 【令和元年度 月別入館者数】

月	開館日数	一日平均（人）	有料（人）	無料（人）	合計（人）
4	26	228	3,465	2,474	5,939
5	26	248	3,413	3,032	6,445
6	26	159	2,273	1,868	4,141
7	17	236	1,905	2,099	4,004
8	27	300	3,786	4,313	8,099
9	25	217	2,854	2,576	5,430
10	20	322	2,509	3,932	6,441
11	26	319	4,203	4,078	8,281
12	24	193	2,056	2,571	4,627
1	22	248	2,318	3,135	5,453
2	24	226	3,121	2,301	5,422
3	26	187	3,030	1,825	4,855
合計	289	239	34,933	34,204	69,137



## 【年度別入館者数】

	開館日数	有料入館者	無料入館者	合計	一日平均
11 年度	124	43,420	29,593	73,013	589
12 年度	292	49,532	31,837	81,369	279
13 年度	298	36,363	34,613	70,976	238
14 年度	298	36,466	38,259	74,725	251
15 年度	293	36,199	32,296	68,495	234
16 年度	287	34,607	34,183	68,790	240
17 年度	293	38,682	34,382	73,064	249
18 年度	296	58,619	56,197	114,816	388
19 年度	296	43,061	27,360	70,421	238
20 年度	294	42,545	29,443	71,988	245
21 年度	293	44,541	30,906	75,447	257
22 年度	284	38,422	31,611	70,033	247
23 年度	287	50,053	37,989	88,042	307
24 年度	284	45,777	37,260	83,037	292
25 年度	298	36,322	33,862	70,184	236
26 年度	296	34,370	38,800	73,170	247
27 年度	296	35,253	37,330	72,583	245
28 年度	294	36,417	38,922	75,339	256
29 年度	288	33,389	40,129	73,518	255
30 年度	299	40,277	37,685	77,962	261
元年度	289	34,933	34,204	69,137	239
合計	5,979	849,248	746,861	1,596,109	266

※岡本太郎美術館の開館日：1999（平成 11）年 10 月 30 日

## 2. 美術館事業 予算・決算概要

### 予算概要

(単位：千円)

	事項名	予算額	主な内容
歳 出	<b>非常勤職員経費</b>	<b>12,332</b>	
	報酬	9,545	館長及び非常勤職員報酬
	共済費	2,787	非常勤職員分
	<b>学芸業務事業費</b>	<b>55,583</b>	
	共済費	10	臨時職員分
	賃金	3,311	臨時職員賃金
	報償費	3,038	企画展協力謝礼 資料収集・評価審査謝礼等
	旅費	655	企画展等調査旅費
	需用費	1,225	図書・雑誌代 展示上映用消耗品 情報事業用消耗品 教育普及用消耗品 燃料費 食糧費 印刷製本費
	役務費	121	図書館レシート広告
	委託料	29,706	展示上映事業（企画展4本、常設展展示替） 情報事業 教育普及事業 保守委託（作品燻蒸） 清掃委託（かの子文学碑）
	使用料及び賃借料	7,732	O A 機器賃借料 使用料・賃借料（展示上映用作品）
	備品購入費	2,724	美術作品・資料購入 庁用備品購入 図書購入
	負担金補助金及び 交付金	7,061	平成31年度全国美術館会議 平成31年度神奈川県博物館協会等 美術館連絡協議会企画展負担金

(単位：千円)

	事項名	予算額	主な内容
歳 出	<b>管理運営事業費</b>	<b>114,162</b>	
	管理運営委託料	114,162	指定管理委託料
	<b>資料デジタル化事業費</b>	<b>5,730</b>	
	共済費	6	臨時職員分
	賃金	1,855	臨時職員賃金
	需要費	228	消耗品
	委託料	3,641	映像・写真デジタル化
	<b>美術館維持補修事業費</b>	<b>13,874</b>	
	委託料	7,374	空調設備整備、電話設備更新
	工事請負費	6,500	トイレ補修、エントランス自動ドア装置交換、メディアセンター空調補修、コンクリート平板・タイル等補修
	<b>岡本太郎作品補修事業費</b>	<b>5,463</b>	
	委託料	5,463	・作品修復 《エクセホモ》《ツラ》《翔ぶ赤》《顔・顔・顔》《にらめっこ》《めざめ》《幻花》 ・作品額装 《未来を見た》《仮面劇》《双子座》《手の顔》 《遭遇》《愛憎》《想い》《マスク》《回帰》
	計		<b>207,144</b>
歳 入	使用料	43,083	観覧料
	その他使用料	1,289	カフェテリア使用料・資料等特別利用料
	納付金	1,347	非常勤職員分
	雑入	10,596	図録等売上・音声ガイド利用料・助成金・イベント収入
計		<b>56,315</b>	

**決算概要**

(単位：千円)

	事項名	決算額	主な内容
歳 出	<b>非常勤職員経費</b>	<b>12,130</b>	
	報酬	9,472	館長及び非常勤職員報酬
	共済費	2,658	非常勤職員分
	<b>学芸業務事業費</b>	<b>54,012</b>	
	共済費	10	臨時職員分
	賃金	2,821	臨時職員賃金
	報償費	2,958	企画展協力謝礼 資料収集・評価審査謝礼等
	旅費	428	企画展等調査旅費
	需用費	1,100	図書・雑誌代 展示上映用消耗品 情報事業用消耗品 教育普及用消耗品 燃料費 食糧費 印刷製本費
	役務費	68	図書館レシート広告
	委託料	29,372	展示上映事業（企画展4本、常設展展示替） 情報事業 教育普及事業 保守委託（作品燻蒸） 清掃委託（かの子文学碑）
	使用料及び賃借料	7,651	O A 機器賃借料 使用料・賃借料（展示上映用作品）
	備品購入費	2,543	美術作品・資料購入 庁用備品購入 図書購入
	負担金補助金及び 交付金	7,061	平成31年度全国美術館会議 平成31年度神奈川県博物館協会等 美術館連絡協議会企画展負担金

(単位：千円)

	事項名	決算額	主な内容
歳 出	<b>管理運営事業費</b>	<b>114,162</b>	
	管理運営委託料	114,162	指定管理委託料
	<b>資料デジタル化事業費</b>	<b>5,413</b>	
	共済費	6	臨時職員分
	賃金	1,625	臨時職員賃金
	需要費	203	消耗品
	委託料	3,579	映像・写真デジタル化
	<b>美術館維持補修事業費</b>	<b>14,569</b>	
	委託料	8,265	空調設備整備、電話設備更新
	工事請負費	6,304	トイレ補修、エントランス自動ドア装置交換、メディアセンター空調補修、コンクリート平板・タイル等補修
	<b>岡本太郎作品補修事業費</b>	<b>3,696</b>	
	委託料	3,696	・ 作品修復 《エクセホモ》《ツラ》《翔ぶ赤》《顔・顔・顔》《にらめっこ》《めざめ》《幻花》 ・ 作品額装 《未来を見た》《仮面劇》《双子座》《手の顔》 《遭遇》《愛憎》《想い》《マスク》《回帰》
	<b>計</b>	<b>203,982</b>	
	歳 入	使用料	26,085
その他使用料		1,204	カフェテリア使用料・資料等特別利用料
納付金		1,360	非常勤職員分
雑入		3,044	図録等売上・音声ガイド利用料・助成金・イベント収入
<b>計</b>	<b>31,693</b>		



### Ⅲ. 組織名簿（平成31年度／令和元年度）

#### 1. 川崎市文化芸術振興会議施設部会委員名簿（任期2019年10月1日～2020年9月30日）

部会長	勅使河原純（美術評論家）
委員	杉浦幸子（武蔵野美術大学芸術文化学科教授）
委員	藤嶋俊會（美術評論家（文化芸術振興会議委員））
委員	光田由里（DIC川村記念美術館学芸課長）
委員	室井絵里（インディペンデントキュレーター）

#### 2. 川崎市岡本太郎美術館 職員名簿

館長	北條秀衛	職員（普及企画）	那須川慧
副館長	古内久	職員（学芸）	佐藤明由美
課長（学芸）	大杉浩司	嘱託職員（学芸）	篠原優
担当係長（管理）	山崎千加子	嘱託職員（普及企画）	橋本文恵
担当係長（学芸）	佐々木秀憲	嘱託職員（普及企画）	千村曜子
担当係長（普及企画）	佐藤玲子	嘱託職員（普及企画）	木村かろう
主任（学芸）	片岡香		

## IV. 川崎市岡本太郎美術館概要

### 1. 美術館の目的

川崎市岡本太郎美術館は、川崎市ゆかりの芸術家岡本太郎氏から寄贈された美術作品及び資料をコレクションの中心として岡本太郎芸術の背景となった両親のかの子、一平の芸術、並びに近現代美術についての収集と展示を主な事業としています。また新しい芸術を創造するための収集、展示などを行い、市民の利用に供するものとします。

更には、単なる美術、芸術鑑賞の場にとどまることなく、市民の美術、芸術に関する創造活動を促進し、市民の芸術及び文化の発展に寄与することを目的としています。

### 2. 美術館事業内容

#### 収集・保存

岡本太郎、一平、かの子に関する作品、資料、また近現代の美術作品を収集し、収蔵庫での燻蒸や必要に応じて資料の修復を行うなど、作品の保存管理を行います。

#### 調査研究

- ・ 岡本太郎、一平、かの子作品とその周辺の美術、国内外の現代美術に関する調査と研究。
- ・ 美術館における展示方法や作品・資料の修復、保存の研究。
- ・ 美術館の普及活動における調査研究。

#### 展 示

##### （常設展示）

常設展示室では、岡本太郎の作品の紹介とその背景となる一平、かの子の作品、資料の展示替えを年 4 回行います。

##### （企画展示）

企画展示室では、岡本太郎芸術に関連するテーマ展、新人作家展、子供向け展覧会など幅広いジャンルに渡る企画展を年 4 回の割合で行います。

#### 情報・出版

情報コーナーとガイダンスホールでは、岡本太郎作品や芸術についての情報や映像を来館者に無料で提供します。また美術館ホームページやミュージアムニュースなどさまざまなメディアを通して外部への情報を発信し、美術館と人とのコミュニケーション作りをめざしています。

#### 普 及

子供から成人まで、さまざまな年齢層に応じ、ワークショップ、講演会、講座などのイベントや、貸出教材、ビデオ等での岡本太郎や美術館の紹介など、だれもが気軽に美術に親しめるための普及活動を行います。また他の美術館、教育施設と連携したイベント等の事業にも活動を広げていきます。

### 3. 美術館沿革

平成 3 年 4 月 川崎市市民ミュージアムにて「川崎生まれの鬼才・岡本太郎」展開催

11 月 岡本太郎氏の所有する主要作品 352 点が寄贈される(第一次)

平成 5 年 1 月 岡本太郎氏に川崎市名誉市民を贈る

岡本太郎氏の所有する主要作品 1,427 点が追加寄贈される(第二次)

4 月 岡本太郎記念館準備室 発足

川崎市市民ミュージアムにて「TARO 万華鏡」展開催

- 平成 6 年 4 月 岡本太郎記念館準備室から岡本太郎美術館準備室に名称変更
- 平成 7 年 11 月 広島市現代美術館にて「岡本太郎」展開催
- 平成 8 年 1 月 岡本太郎逝去（享年 84 歳）
- 6 月 アートガーデンで川崎「岡本太郎追悼」展開催
- 11 月 生田緑地にて美術館建設工事着工
- 平成 9 年 9 月 新百合トゥエンティワンで「'97 TARO」展開催
- 平成 10 年 5 月 岡本敏子氏により、青山のアトリエに岡本太郎記念館が開館する
- 平成 11 年 2 月 美術館建設工事、展示工事竣工(工期 2 年 3 ヶ月)
- 4 月 岡本太郎美術館準備室から川崎市岡本太郎美術館に名称変更  
村田慶之輔氏が館長に就任、シンボルタワー「母の塔」工事竣工
- 10 月 川崎市岡本太郎美術館開館、開館記念展「多面体・岡本太郎一哄笑するダイナミズムー」開催
- 平成 15 年 4 月 岡本敏子氏の所有する岡本太郎関連資料 1,827 点が寄贈される(第三次)
- 平成 16 年 3 月 多摩区役所 1F ロビーに《樹霊》設置
- 4 月 「肉体のシュルレアリスム 舞踏家土方巽抄」展(2003 年)が、第 35 回舞踏批評家協会賞を受賞
- 10 月 開館 5 周年記念展「テレビ発掘 まる裸の太郎」開催
- 平成 17 年 3 月 北代省三氏の所有する同氏の関連資料が寄贈される
- 4 月 岡本太郎の養女・岡本敏子逝去
- 10 月 多摩区役所 1F ロビーに《樹霊》にかわり《月の顔》設置
- 平成 18 年 2 月 入館者 50 万人達成
- 平成 21 年 4 月 開館 10 周年記念展「岡本太郎の絵画」開催
- 平成 23 年 2 月 岡本太郎生誕 100 年 誕生日記念イベント開催
- 3 月 東京国立近代美術館で「生誕 100 年 岡本太郎」展開催
- 4 月 「生誕 100 年人間・岡本太郎」展開催
- 10 月 岡本太郎生誕 100 年記念イベント ダンス公演「TARO と踊ろう！」開催
- 平成 24 年 3 月 入館者 100 万人達成
- 4 月 北條秀衛氏が館長に就任、村田慶之輔氏が名誉館長に就任
- 平成 25 年 3 月 池田龍雄氏の所有する同氏の関連資料が寄贈される
- 4 月 生田緑地一部指定管理者制度導入
- 平成 26 年 3 月 生田緑地西口園路開通
- 7 月 川崎市制 90 周年記念展「岡本太郎とアール・ブリュット 生の芸術の地平へ」開催
- 10 月 開館 15 周年記念展「T A R O 賞の作家Ⅱ」開催
- 11 月 開館 15 周年記念イベント「T A R O 祭り」開催
- 平成 27 年 2 月 《母の塔》補修工事完了
- 4 月 川崎市岡本太郎美術館資料収集委員会、資料評価委員会廃止
- 6 月 川崎市岡本太郎美術館協議会廃止  
川崎市文化芸術振興会議施設部会設置
- 平成 30 年 10 月 入館者 150 万人達成
- 平成 31 年 7 月 開館 20 周年記念展「これまでの企画展みんな見せます！」開催

## 4. 施設・設備概要

### 常設展示室 (1,026 m<sup>2</sup>)

岡本太郎の多岐にわたる分野を越えた幅広い芸術作品や著作、パフォーマンス、フィールドワーク等の活動、また思想的な背景となる民族学やパリ時代での交友など多面体の岡本太郎の軌跡を伝えるためには、その表現世界の広がりに応える展示環境が不可欠でした。

常設展示室は、芸術活動の分野や内容、作品の特徴や形状、時代毎の傾向などによって、展示室全体が複雑に分節され、それぞれに独自の空間と役割を与えられた部屋が柔らかく結ばれた迷路のように作られています。そこには順路はなく来館者は迷宮の様な空間を歩きながら岡本太郎と出会い、その断片を発見する旅がはじまるのです。

各ゾーンには作品を映像・グラフィックと共に見せる絵画ゾーン、作品そのものによって空間を構成し、照明効果、映像の演出によって様々な表情を見せる彫刻のゾーン、また多面的な活動をわかりやすく紹介する展示空間など、それぞれが岡本太郎を訪ねる旅の一場面となっています。

これら従来の作品を単に鑑賞する美術館から、子供から大人まで、理屈抜きに岡本太郎を肌で感じ体験できる展示空間として、楽しんでいただけます。



### 企画展示室 (828 m<sup>2</sup>)

岡本太郎に関わる展示だけでなく、新人作家の紹介や、現代美術、子供の創造性を高める参加型の展覧会など様々な展示に対応できる空間です。中央に外光を取り入れるための光庭が配置され、828 m<sup>2</sup>の空間は可動壁によって、いくつものパターンの展示空間を作ることができます。



### 母の塔

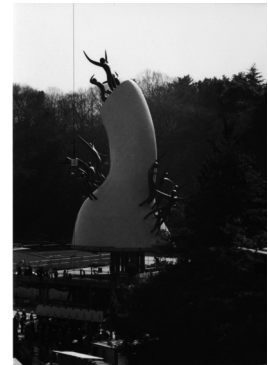
岡本太郎美術館のシンボルタワー「母の塔」は、「大地に深く根ざした巨木のたくましさ」と「ゆたかでふくよかな母のやさしさ」「天空に向かって燃えさかる永遠の生命」をテーマとして製作されました。製作にあたっては原型を3次元解析して得た座標数値を基に、正確に再現しています。

外装のGRCパネルは高い強度と精度管理のしやすさから、またクラッシュタイルは3次元曲線に追従し、かつ目地処理が容易であることから選ばれました。外装の「タローホワイト」と名付けた特殊な色のタイルは、光を浴びるとゆっくりと表情を変え、微妙な歪みや揺らぎを見ることができます。

施工に際しては、空中における3次元座標の管理、複雑な形状とデリケートな作業、合理的な仮設計画等から、全ての作業を作業床で完了させるジャッキアップ工法が取り入れられ、先端部分から順に完成させては押し上げる、まるで大地から生えてくるような、制作のプロセスそのものもダイナミックで芸術的な施工方法で完成しました。



- 名称・・・・・・母の塔
- 原作者・・・・・・岡本太郎
- 原型制作年・・・・1971 年
- 設計・・・・・・川崎市教育委員会、現代芸術研究所
- 施工・・・・・・戸田・北島共同企業体
- 建物用途・・・・工作物（屋外彫刻）
- 構造・・・・・・鉄骨造（塔体パイプトラス+鋳鋼ジョイント）
- 全高・・・・・・30m
- 工法・・・・・・ジャッキアップ工法
- 支持杭・・・・現場造成杭（機械掘深礎工漬）径 2m、7 本
- 外装・・・・・・外殻 GRC クラッシュパネル  
仕上 クラッシュタイル（スコルト加工）
- 人形彫刻・・・・FRP ブロンズ仕上 16 体 H=3.0~5.6m  
内部 常温亜鉛メッキ鉄骨補強
- その他設備・・・・照明設備、避雷



## V. 川崎市岡本太郎美術館条例・規則

### 1. 条例

（目的及び設置）

第 1 条 川崎市ゆかりの芸術家岡本太郎を中心とした美術作品及び資料の収集、展示等を行い、市民の利用に供するとともに、市民の美術に関する創造的活動を促進し、もって市民の芸術及び文化の発展に寄与するため、川崎市岡本太郎美術館（以下「美術館」という。）を設置する。

（位置）

第 2 条 美術館の位置は、川崎市多摩区枳形 7 丁目 1 番 5 号とする。

（事業）

第 3 条 美術館は、第 1 条の目的を達成するため、おおむね次の事業を行う。

- (1) 美術作品及び資料（以下「美術作品等」という。）の収集、保管、展示等を行うこと。
- (2) 美術作品等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術作品等に関する情報の提供を行うこと。
- (4) 講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (5) 博物館、図書館、学校、研究所その他の関係機関と協力し、情報の交換、美術作品等の相互貸借等を行うこと。

（職員）

第 4 条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

（指定管理者）

第 5 条 市長は、法人その他の団体であって次の要件を満たすものとしてその指定するもの（以下「指定管理者」という。）に美術館の管理を行わせる。

- (1) 美術館の管理を行うに当たり、市民の平等な利用が確保できること。
- (2) 事業計画書の内容が、美術館の効用を最大限に発揮するとともに管理経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画書の内容に沿った美術館の管理を安定して行う能力を有すること。

2 前項の指定を受けようとするものは、事業計画書その他市長が必要と認める書類を市長に提出しなければならない。

3 市長は、第 1 項の指定をしたときは、その旨を告示する。

（指定管理者が行う管理の基準）

第 6 条 指定管理者は、この条例及びこれに基づく規則の規定に従い、美術館の管理を行わなければならない。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第 7 条 指定管理者は、次に掲げる業務を行わなければならない。

- (1) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (2) 美術館の広報活動に関すること。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、美術館の管理に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

（開館時間及び休館日）

第 8 条 美術館の開館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、開館時間を変更し、又は臨時に開館し、若しくは休館することができる。

開館時間	午前 9 時 30 分から午後 5 時まで
休館日	(1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（以下「休日」という。）を除く。） (2) 休日の翌日（土曜日、日曜日及び休日を除く。） (3) 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までの日（前 2 号に掲げる日を除く。）

（観覧料）

第 9 条 常設展又は企画展の展示会場へ入場しようとする者は、別表第 1 に定める観覧料を納付しなければならない。

（特別利用）

第 10 条 美術作品等について熟覧、模写、模造、撮影又は原板使用（以下「特別利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第 2 に定める区分に応じ同表に定める特別利用料を納付しなければならない。

3 特別利用料は、許可と同時に納付しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

4 市長は、第 1 項の許可を受けた者がその条件に違反したとき、又は違反するおそれがあるとき、その他市長が管理上支障があると認めるときは、当該許可を取り消し、又は特別利用を制限し、若しくは停止することができる。

（受講料等）

第 11 条 市長は、第 3 条第 4 号に規定する事業を行うに当たっては、受講料又は入場料を徴収することができる。

2 前項の受講料及び入場料の額は、市長がその都度定める。

（観覧料等の減免）

第 12 条 市長は、特に必要があると認めるときは、第 9 条に規定する観覧料及び第 10 条第 2 項に規定する特別利用料（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除すること

ができる。

（観覧料等の還付）

第 13 条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

（入館等の制限）

第 14 条 指定管理者は、他人の迷惑となるおそれのある者その他管理上支障があると認められる者については、入館を断り、又は退館させることができる。

（損害の賠償）

第 15 条 美術作品等又は施設若しくは設備を損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従いこれらを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

（委任）

第 16 条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例の施行期日は、市長が定める。（平成 11 年 6 月 30 日規則第 69 号で平成 11 年 10 月 30 日から施行）

附 則（平成 12 年 12 月 21 日条例第 79 号）

この条例は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 17 年 9 月 30 日条例第 88 号）

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 18 年 12 月 14 日条例第 77 号）

この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 19 年 3 月 20 日条例第 18 号抄）

この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 19 年 10 月 9 日条例第 47 号）

この条例は、学校教育法等の一部を改正する法律（平成 19 年法律第 96 号）の施行の日又はこの条例の公布の日のいずれか遅い日から施行する。

附 則（平成 21 年 12 月 24 日条例第 47 号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

（川崎市スポーツ振興審議会条例等の一部改正に伴う経過措置）

12 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に教育委員会が行った処分その他の行為で、施行日においてこの条例の附則の規定による改正後の次に掲げる条例の規定により当該行為を行うべきものが市長となるものは、施行日以後においては、市長が行った処分その他の行為とみなす。

(1) 川崎市スポーツ振興審議会条例

(2) 川崎市とどろきアリーナ条例

(3) 川崎市体育館条例

(4) 川崎市スポーツセンター条例

(5) 川崎市武道館条例

(6) 川崎市市民ミュージアム条例

(7) 川崎市岡本太郎美術館条例

(8) 川崎市大山街道ふるさと館条例

附 則（平成 24 年 3 月 19 日条例第 4 号）

この条例は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 4 条の次に 4 条を加える改正規定（第 5 条（指定管理者に美術館の管理を行わせることに係る部分を除く。）に係る部分に限る。）及び第 12 条の改正規定（同条を第 16 条とする部分を除く。）は、公布の日から施行する。

附 則（平成 27 年 3 月 23 日条例第 2 号抄）

1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

(1) 第 16 条、第 17 条及び第 20 条の規定 平成 27 年 5 月 1 日

(2) 第 3 条の規定 平成 27 年 6 月 1 日

(3) 第 19 条の規定 平成 27 年 7 月 1 日

(4) 第 7 条の規定 平成 28 年 4 月 1 日

(5) 第 12 条、第 14 条及び第 15 条の規定 平成 28 年 5 月 1 日

(6) 第 2 条、第 4 条、第 11 条、第 13 条及び第 18 条の規定 平成 28 年 6 月 1 日

(7) 第 6 条の規定 平成 28 年 9 月 1 日

(8) 第 5 条の規定 平成 28 年 10 月 1 日

(9) 第 8 条の規定 平成 28 年 11 月 1 日

附 則（平成 28 年 3 月 24 日条例第 30 号）

この条例は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

別表第 1（第 9 条関係）

1 普通観覧料

(1) 常設展の観覧料

区分	個人	団体
高校生・大学生及び 65 歳以上の者	300 円	1 人につき 240 円
一般	500 円	1 人につき 400 円

備考

1 団体とは、20 人以上をいう。

2 学齢に達しない者及び学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号。以下「法」という。）第 1 条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設に在学する者は、無料とする。

3 高校生・大学生とは、法第 1 条に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程、大学及び高等専門学校、法第 124

条に規定する専修学校、法第 134 条に規定する各種学校その他これらに準ずる教育施設に在学する者をいう。

4 一般とは、前 2 項に規定する者及び 65 歳以上の者以外の者をいう。

5 企画展の観覧料を納付した者は、無料とする。

(2) 企画展の観覧料

1 人につき 2,000 円の範囲内で市長がその都度定める。

2 共通利用券

種別	金額
100 円券 12 枚つづり	1,000 円
100 円券 25 枚つづり	2,000 円

備考 共通利用券は、次に掲げる施設の入場等に利用することができる。ただし、当該各施設への団体（20 人以上をいう。）の入場等については、この限りでない。

(1) 美術館の常設展又は企画展の展示会場への入場

(2) 川崎市市民ミュージアム条例（昭和 62 年川崎市条例第 45 号）に規定する川崎市市民ミュージアムにおいて川崎市市民ミュージアムが行う企画展の展示会場への入場

(3) 川崎市青少年科学館条例（昭和 46 年川崎市条例第 24 号）に規定する川崎市青少年科学館のプラネタリウムの一般投影又は特別投影の観覧

(4) 川崎市立日本民家園条例（昭和 42 年川崎市条例第 19 号）に規定する川崎市立日本民家園への入園

3 特別入場券

市長は、7,000 円の範囲内で定期券その他の特別入場券を発行することができる。

別表第 2（第 10 条関係）

区分	単位	特別利用料
熟覧	1 点 1 日	200 円
模写		1,000 円
模造		1,000 円
撮影	1 点	300 円
原板使用	1 枚	2,000 円

## 2. 条例施行規則

(趣旨)

**第 1 条** この規則は、川崎市岡本太郎美術館条例（平成 11 年川崎市条例第 25 号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(公告)

**第 2 条** 市長は、条例第 5 条第 1 項の規定により川崎市岡本太郎美術館（以下「美術館」という。）の管理を行

わせるため、法人その他の団体（以下「法人等」という。）を指定しようとするときは、あらかじめ次に掲げる事項を公告する。

- (1) 管理を行わせる施設の名称及び所在地
- (2) 条例第 5 条第 1 項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）が行う管理の基準及び業務の範囲
- (3) 指定管理者の指定の予定期間（以下「指定予定期間」という。）
- (4) 条例第 5 条第 2 項の規定による事業計画書その他市長が必要と認める書類の提出（以下「事業計画書等の提出」という。）の方法
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項（事業計画書等の提出）

**第 3 条** 事業計画書等の提出は、市長が定める期間内にしなければならない。

2 条例第 5 条第 2 項に規定する事業計画書その他市長が必要と認める書類は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定予定期間に属する各年度の美術館の管理に係る事業計画書及び経費見積書
- (2) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書（法人以外の団体にあつては、これらに相当する書類）
- (3) 事業計画書等の提出をする日（以下「提出日」という。）の属する事業年度の前事業年度における財産目録、貸借対照表及び損益計算書若しくは活動計算書又は収支計算書。ただし、提出日の属する事業年度に設立された法人等にあつては、その設立時における財産目録とする。
- (4) 提出日の属する事業年度及び翌事業年度における法人等の事業計画書及び活動予算書又は収支予算書
- (5) 役員の名簿及び履歴書
- (6) 組織及び運営に関する事項を記載した書類
- (7) 現に行っている業務の概要を記載した書類
- (8) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める書類（指定管理予定者）

**第 4 条** 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が 2 以上あるときは、条例第 5 条第 1 項各号に掲げる要件（以下「指定要件」という。）を満たし、かつ、次に掲げる業務を行う上で最も適切と認めるものを指定管理者の予定者（以下「指定管理予定者」という。）とする。

- (1) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
  - (2) 美術館の広報活動に関すること。
  - (3) 前 2 号に掲げるもののほか、美術館の管理に関する事務のうち、市長が必要と認める業務
- 2 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が 1 であ



る場合において、指定要件を満たすときは、当該法人等を指定管理予定者とする。

- 3 市長は、前条第 1 項に規定する市長が定める期間内に事業計画書等の提出をした法人等がないとき、又は前 2 項の指定管理予定者がいないときは、再度、第 2 条の規定による公告を行う。

(通知)

**第 5 条** 市長は、条例第 5 条第 1 項の指定をしたときは、指定された法人等に対し、指定管理者指定書（第 1 号様式）により通知する。

(協定)

**第 6 条** 指定管理者は、市長と美術館の管理に関する協定を締結するものとする。

- 2 前項の協定においては、次に掲げる事項を定めるものとする。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 管理に要する費用に関する事項
- (3) 管理を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
- (4) 管理の業務の報告に関する事項
- (5) 指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (6) 川崎市契約条例（昭和 39 年川崎市条例第 14 号）に規定する作業報酬に関する事項
- (7) その他市長が必要と認める事項  
(事務の委任)

**第 7 条** 次に掲げる事務は、川崎市岡本太郎美術館長（以下「館長」という。）に委任する。

- (1) 条例第 10 条に規定する特別利用（以下「特別利用」という。）の許可、許可の取消し等に関すること。
- (2) 条例第 12 条に規定する観覧料等（以下「観覧料等」という。）の減額又は免除に関すること。
- (3) 条例第 13 条の規定による観覧料等の還付に関すること。

(観覧券等の交付)

**第 8 条** 館長は、条例第 9 条の規定による観覧料の納付と引換えに観覧券、共通利用券又は特別入場券を交付するものとする。

(特別入場券)

**第 9 条** 市長は、条例別表第 1 の 3 の規定により次の特別入場券を発行することができる。

- (1) 定期券
- (2) 共通入館券
- (3) 優待券
- (4) 前売券

- 2 前項の特別入場券を発行する場合及びその額は、その都度市長が定める。

(特別利用の申請等)

**第 10 条** 条例第 10 条第 1 項の規定により特別利用をしようとする者は、特別利用許可申請書（第 2 号様式）をあらかじめ館長に提出しなければならない。

- 2 館長は、特別利用を許可したときは、当該申請をした者に特別利用許可書（第 3 号様式）を交付するものとする。

- 3 館長は、特別利用を許可するときは、次に掲げる条件を付することができる。

- (1) 条例第 3 条第 1 号に規定する美術作品等（以下「美術作品等」という。）の模写、模造、撮影若しくは原板使用によって得たもの（以下「模写資料等」という。）を展示し、又は出版物等に掲載するときは、美術館の所蔵に係るものであることを、適切な方法で表示すること。
- (2) 無断で模写資料等の複製、出版物等への掲載、上映、放送又はこれらに類する行為をしないこと。
- (3) 美術作品等を撮影したときは当該撮影によって得たフィルム等を、模写資料等を出版物等へ掲載したときは当該出版物等を本市に提供すること。
- (4) その他館長が必要と認める事項  
(特別利用の不許可)

**第 11 条** 館長は、次に掲げる美術作品等については、特別利用を許可しない。

- (1) 特別利用によって美術作品等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるもの
- (2) 寄託された美術作品等で寄託者の同意を得ていないもの
- (3) 著作権が存する美術作品等で著作権者の同意を得ていないもの
- (4) その他館長が特別利用することを不相当と認めるもの

- 2 特別利用は、館長の指示に従って行わなければならない。

(観覧料等の減免)

**第 12 条** 条例第 12 条の規定により館長が観覧料等を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- (1) 観覧料

- ア 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 1 条に規定する幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設が教育課程に基づく教育活動として観覧を行う場合 全額
- イ 児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）第 7 条第 1 項に規定する児童福祉施設が当該施設の活動として観覧を行う場合 全額

- ウ 川崎市の発行する福寿手帳の交付を受けている者が常設展の観覧を行う場合 全額
- エ 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定による身体障害者手帳、戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条第1項又は第2項の規定による戦傷病者手帳、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成6年法律第117号）第2条第3項の規定による被爆者健康手帳、療育手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定による精神障害者保健福祉手帳等（以下「身体障害者手帳等」という。）の交付を受けている者（これらの者の介護者を含む。）が観覧を行う場合 全額
- オ その他館長が特に必要があると認める場合 その都度館長が定める額
- (2) 特別利用料
- ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額
- イ 私立の博物館、図書館、学校、研究所等がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額
- ウ 専ら学術研究の用途に供することを目的とする場合 全額
- エ その他館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額
- 2 前項第1号の規定による観覧料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては観覧料減免申請書（第4号様式）を、前項第2号の規定による特別利用料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては特別利用料減免申請書（第5号様式）を、あらかじめ館長に提出しなければならない。ただし、前項第1号ウの場合にあっては川崎市の発行する福寿手帳の、同号エの場合にあっては身体障害者手帳等の提示をもって、当該申請書の提出に代えることができる。
- （観覧料等の還付）
- 第13条** 条例第13条ただし書の規定により観覧料等を還付することができる場合及びその額は、次のとおりとする。
- (1) 災害その他の事故により観覧又は特別利用ができない場合 全額
- (2) 管理上の必要から入場を禁止し、若しくは制限し、又は特別利用の許可を取り消す場合 全額
- (3) 前2号に定めるもののほか、館長が特別の理由があ

ると認める場合 その都度館長が定める額  
（遵守事項）

**第14条** 美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 建物、附属設備又は美術作品等を汚損し、若しくは損傷し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。
- (2) 他人に迷惑をかけ、又はそのおそれのある行為をしないこと。
- (3) 展示会場において許可を受けずに、撮影、模写等を行わないこと。
- (4) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をしないこと。
- (5) 前各号に定めるもののほか、館長が指定する事項（委任）

**第15条** この規則の施行について必要な事項は、市民文化局長が定める。

**附 則**

（施行期日）

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。  
（経過措置）
- 2 川崎市岡本太郎美術館協議会規則（平成11年川崎市教育委員会規則第7号）の規定により委嘱され、又は任命された委員で、この規則の施行の際現に在任する委員は、その任期が終了するまでの間、この規則の規定に基づき委嘱され、又は任命されたものとみなす。

**附 則**（平成25年3月29日規則第26号抄）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。  
（経過措置）
- 2 改正前の規則の規定により調製した帳票で現に残存するものについては、当分の間、必要な箇所を訂正した上、引き続きこれを使用することができる。

**附 則**（平成27年5月27日規則第49号）

この規則は、平成27年6月1日から施行する。

**規 則**（平成28年3月31日規則第25号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

- 第1号様式  
第2号様式  
第3号様式  
第4号様式  
第5号様式

令和元年度（平成 31 年度）  
川崎市岡本太郎美術館年報

2020 年 9 月発行  
編集・発行／川崎市岡本太郎美術館  
川崎市多摩区栢形 7-1-5  
TEL 044-900-9898

印 刷 　／日本プロセス秀英堂

**TARO OKAMOTO**  
**MUSEUM OF ART**  
**KAWASAKI**